



---

# Netcommunity SYSTEM X7000

取扱説明書【基本編】【応用編】

変更内容について（V4.00～）

# 基本編変更内容

## 追加機能 (V2.00～)

### FOMA対応—FOMA／無線LANデュアル端末「FOMA N900iL」の内線収容

LANネットワーク上にワイヤレスアクセスポイント (IEEE802.11b対応) を収容することにより、携帯電話 (FOMA N900iL) をSIP端末として内線収容することができます。

SIP端末によっては、受話音量を上げると通話エコーが気になる場合があります。その場合は、受話音量を小さくしてください。

📞 FOMA／無線LANデュアル端末「FOMA N900iL」をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

### フレッツフォン VP1000対応—IPテレビ電話端末「フレッツフォン VP1000」の内線収容

LANネットワーク上にフレッツフォン VP1000を接続することにより、SIP端末として内線収容することができます。

SIP端末によっては、受話音量を上げると通話エコーが気になる場合があります。その場合は、受話音量を小さくしてください。

📞 IPテレビ電話端末「フレッツフォン VP1000」をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

### ボイスメールサービス対応

ボイスメールサービスは、電話によるメッセージ (音声) を一元的に管理することができます。

ボイスメールサービスを主装置に接続したパソコンにインストールすることにより、音声メール再生・削除機能や留守録音機能をご利用いただけます。

取扱いについては、付属の資料をご参照下さい。

📞 ボイスメールサービスをご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

\*FOMAは、株式会社NTTドコモの商標または商標登録です。

\*フレッツフォン VP1000は、東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の商標登録です。

## 追加機能 (V3.00～)

### ファームウェア更新機能

ファームウェア更新機能とは、主装置が定期的にインターネット上の当社サーバとの通信を行い、最新ファームウェアを確認した場合に自動的にアップデートまたはお客様へ通知する機能です。

📞 ファームウェア更新機能をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

### FOMA対応—FOMA／無線LANデュアル端末「FOMA N900iL」による保留転送対応

内線収容している無線LANデュアル端末「FOMA N900iL」によって、保留、転送を行うことができます。ただし、携帯電話 (FOMA N900iL) で転送操作を行った場合、転送先端末に一瞬保留メロディが聞こえる場合があります。

📞 FOMA／無線LANデュアル端末「FOMA N900iL」をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

### IP電話会議装置MB-1000対応—IP電話会議装置「MB-1000」の内線収容

LANネットワーク上にIP電話会議装置MB-1000を接続することにより、SIP端末として内線収容することができます。SIP端末によっては、受話音量を上げると通話エコーが気になる場合があります。その場合は、受話音量を小さくしてください。

📞 IP電話会議装置「MB-1000」をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

# 基本編変更内容

## 機能追加 (V4.00 ~)

### ひかり電話オフィスタイプ対応

X7000にひかり電話オフィスタイプを収容することができるようになりました。次のような機能を利用することができます。

- ・最大8chまでの同時通話ができます。
- ・最大32の電話番号を利用することができます。
- ・緊急通報（110番、118番、119番）、災害伝言ダイヤル171番のご利用が可能です。

🔗 ひかり電話オフィスタイプ対応をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

### Netcommunity SYSTEM IPコードレス電話機の内線収容 (予定)

LANネットワーク上にNetcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント(a/b/g)を収容することにより、マルチライン表示のできるIPコードレス電話機を内線収容することができます。

以降本書では、「IPコードレス電話機」と略します。

IPコードレス電話機に関する説明は、「Netcommunity SYSTEM X7000 IP コードレス電話機 取扱説明書」を参照してください。

🔗 IPコードレス電話機をご利用になるには、特別な設定が必要です。工事をご依頼ください。

## お知らせ

- 呼出状態転送で3分間応答しない場合は、呼出と保留回線が切断されます。
- 主装置の設定を行う場合には、次のWeb ブラウザを推奨します。
  - ・ Microsoft Internet Explorer 5.5 (SP-2) 以上
  - 『推奨製品以外のWebブラウザをお使いの場合、一部の設定操作においてブラウザの仕様により機能制約（キーボードで操作したときデータが反映されない等）がございます。』
- 基本編に記載されている「IP電話サービスについて」P32 ~37では、050系電話サービスを例に記述しています。ご利用されるIP電話事業者のサービスによって制約事項などに違いがある場合がありますので、詳しくは各IP電話事業者にご確認ください。

## 変更

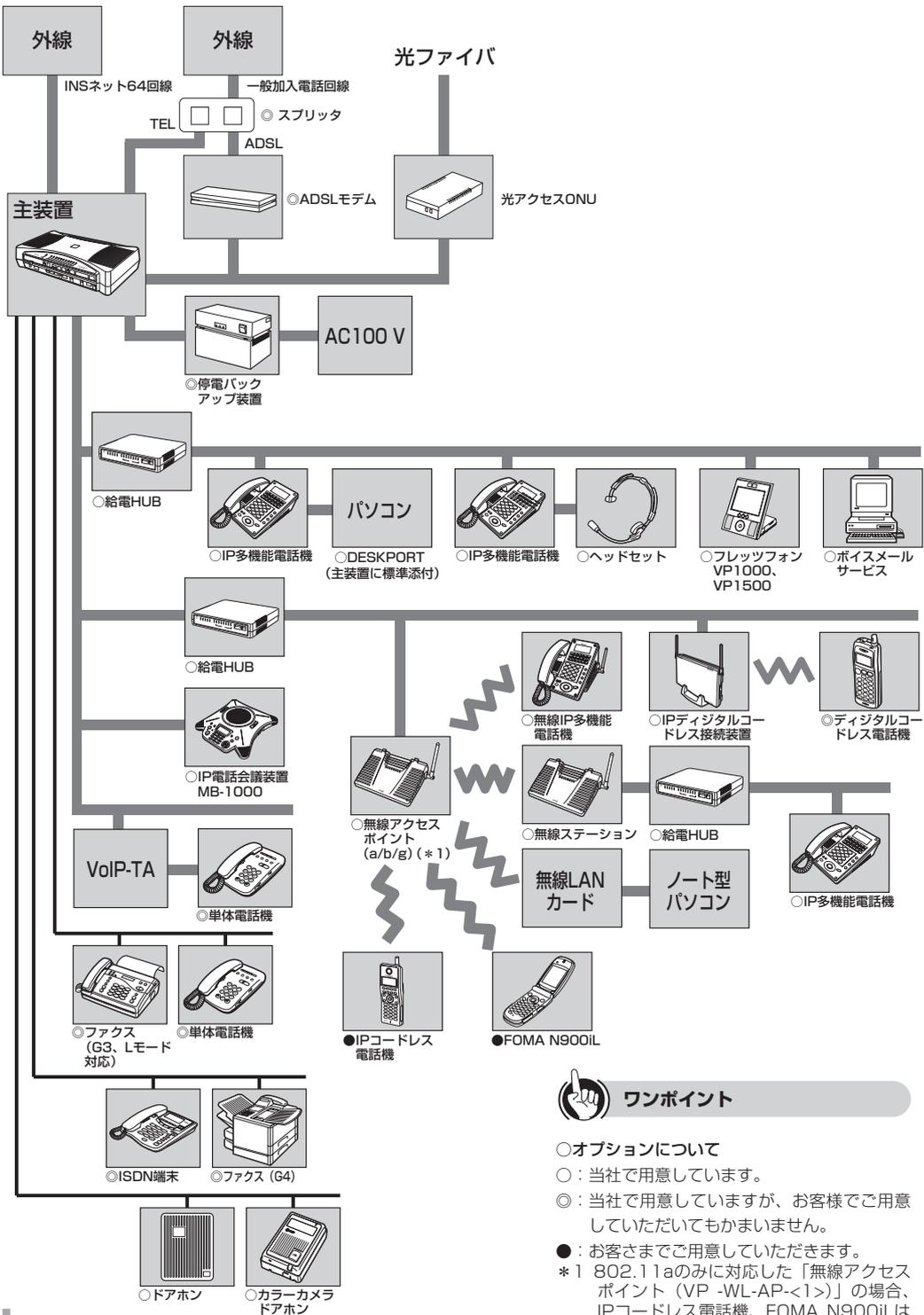
■次ページより変更内容を記載します。

# 基本編変更内容

■ P18 ~ P19 IP コードレス電話機、FOMA N900iL、無線アクセスポイント (a/b/g)、フレッツフォン VP1000、IP 電話会議装置 MB-1000、ボイスメールが追加されました。

## 1 お使いになる前に

### 構成図



# 基本編変更内容

## 1 お使いになる前に

## ご利用になれる端末

主装置には以下の端末を接続して使用することができます。

名称	カナ品名	説明
IP多機能電話機	VP-TEL-<1>	標準のIP多機能電話機です。
無線IP多機能電話機	VP-WL-TEL-<1>	IP多機能電話機と無線ステーションがセットになっており、LAN配線が不要な電話機です。
IPコードレス電話機	GX-IPCL-PSSET-<1>	IEEE802.11b対応のマルチライン表示が可能な、無線ハンディ型の電話機です。
無線アクセスポイント (a/b/g)	VP-WL-AP-<2>	高速無線LANを構築するためのデュアルバンドアクセスポイントです。 IEEE802.11aとIEEE802.11b/gの無線LANを同時にご利用になれます。
無線アクセスポイント	VP-WL-AP-<1>	高速無線LANを構築するためのアクセスポイントです。約30m(見通し)以内の範囲に無線ステーションや無線IP多機能電話機を設置し、配線工事が不要なLANを構成することができます。
無線ステーション	VP-WL-ST-<1>	高速無線LANを構築するためのステーションです。無線アクセスポイントから約30m(見通し)以内で使用し、パソコンや給電HUB、IP多機能電話機と接続して配線工事が不要なLANを構成することができます。
給電HUB	GX-POLHUB-<1>	IP多機能電話機、無線ステーション、デジタルコードレス接続装置を接続することにより、給電することのできるHUBです。
IPデジタルシステムコードレス接続装置	GX-DCL-IP<3> CS-<1><M> GX-DCL-IP<3> CS-<1><S>	IPデジタルシステムコードレス接続装置を接続することにより、デジタルコードレス電話機をご利用になれます。
デジタルコードレス電話機	ピエットS400TEL	(64K/32Kデータ通信機能はご利用になれません)
デジタル通信機器	—	G4ファクスなどをデジタル通信機器接続ジャック(S/T)に接続してご利用になれます。
アナログ通信機器	—	単体電話機やG3ファクスなどを、単体電話機ポート(TEL1/TEL2)に接続してご利用になれます。 ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器は単体電話機ポート1(TEL1)に接続してご利用になれます。 Lモード対応のアナログ通信機器は単体電話機ポート1(TEL1)に接続してご利用になれます。(●P22) ダイヤル信号はPBIに設定してご利用ください。
ドアホン	—	ドアホンを接続してご利用になれます。
カラーカメラドアホン	—	カラーカメラ付きのドアホンと専用のモニターを接続してご利用になれます。
パソコン	—	LANカード/ボードを装着したパソコンを接続してインターネット接続をご利用になれます。
ヘッドセット	GX-HEADSET-<1>	IP多機能電話機、無線IP多機能電話機に接続して、ハンズフリー通信を行うためのヘッドセットです。
VoIP-TA	—	LAN側に接続することにより、単体電話機を接続してご利用になれます。VoIP-TAに接続した単体電話機では、保留・転送はご利用になれません。
FOMA N900iL	—	FOMA N900iLをSIP端末として内線収容することができます。
フレッツフォン VP1000、VP1500	IPTV1-TEL IPTV2-TEL	LANネットワーク上にフレッツフォン VP1000、VP1500を接続することにより、SIP端末として内線収容することができます。
IP電話会議装置 MB-1000	MB-1000	IP電話会議装置MB-1000をSIP端末として内線収容することができます。



### お知らせ

- 端末によっては、接続するための特別な工事が必要です。(●P22)  
接続工事は、局番なしの116番、または当社の営業所などへお問い合わせください。
- インターネット接続をご利用になるには、インターネットにアクセスするサービスを提供するプロバイダとの契約が必要です。
- 端末によっては、一部ご利用になれない機能がございます。利用できる機能の確認は、局番なしの116番、または当社の営業所などへお問い合わせください。

1  
前に  
お  
使い  
に  
なる

2  
電話  
機  
を  
使  
う

3  
使  
う  
単  
体  
電  
話  
機  
を

4  
行  
う  
デ  
ー  
タ  
設  
定  
を

5  
簡  
易  
S  
K  
P  
ソ  
フ  
ト  
を  
利  
用  
す  
る

6  
ご  
参  
考  
に

# 基本編変更内容

## NTT 西日本エリアでご利用のお客様

### 重要

### 加入者網終端装置 (CTU) に DHCP 機能を使わない機器を接続する場合の注意事項について

#### 本商品の IP アドレスについて

本商品には、加入者網終端装置 (CTU) の DHCP サーバ機能により、1 つの IP アドレスが設定されます。

この IP アドレスは、お客さまがご利用可能な IP アドレスのうち、加入者網終端装置 (CTU) の DHCP 払い出し IP アドレス<sup>※1</sup>を除く最若番の IP アドレスとなります。

例えば、加入者網終端装置 (CTU) の DHCP サーバ機能が「初期値」の状態であれば、本商品に設定される IP アドレスは、「192.168.24.2」<sup>※2</sup>となります。

※1 加入者網終端装置 (CTU) を初期値でお使いの場合、「192.168.24.51 ~ 192.168.24.100」となります。

※2 「192.168.24.0」「192.168.24.1」は、ネットワークおよび加入者網終端装置 (CTU) で利用しています。

#### お知らせ

- 本商品に設定されている IP アドレスは、加入者網終端装置 (CTU) 設定画面から参照・変更ができます。加入者網終端装置 (CTU) 設定画面から、「詳細設定」→「DHCP サーバ機能設定」を選択してください。「DHCP サーバ機能設定 (LAN 側固定 IP 払い出し)」の備考欄に、「ひかり電話」と記入されている欄の IP アドレスが、本商品に設定された IP アドレスになります。詳しくは、「加入者網終端装置 (CTU) ガイドブック」を参照してください。

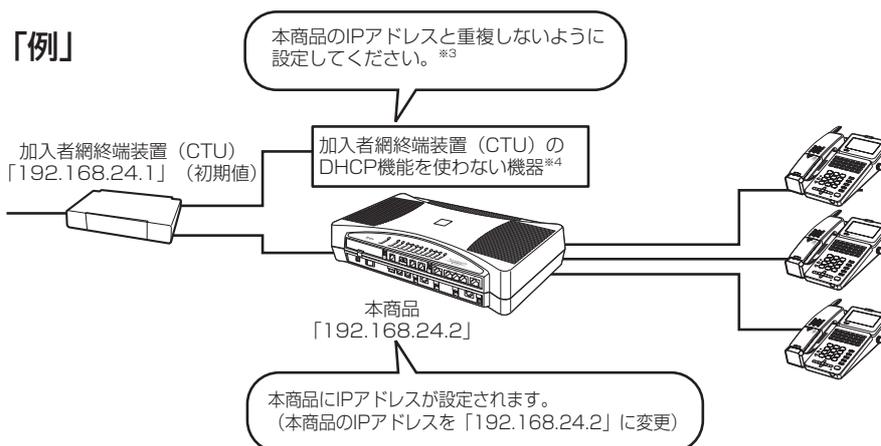
#### 加入者網終端装置 (CTU) に DHCP 機能を使わない機器を接続する場合

加入者網終端装置 (CTU) に、DHCP 機能を使わない機器を接続される場合、その機器に設定する IP アドレスと、本商品に設定される IP アドレスが重複しないように設定してください。

IP アドレスが重複すると、正しくご利用いただけません。

#### お知らせ

- 加入者網終端装置 (CTU) の IP アドレスは、「192.168.24.1」となっています (初期値)。この IP アドレスを「192.168.1.1」に変更すると本商品を正しくご利用いただけない場合があります。



※3 加入者網終端装置 (CTU) を初期値でお使いの場合、「192.168.24.3」以降 (DHCP 払い出し IP アドレスを除く) の IP アドレスをお使いいただくことをお勧めします。

※4 ブロードバンドルータ、無線アクセスポイントアダプタなど

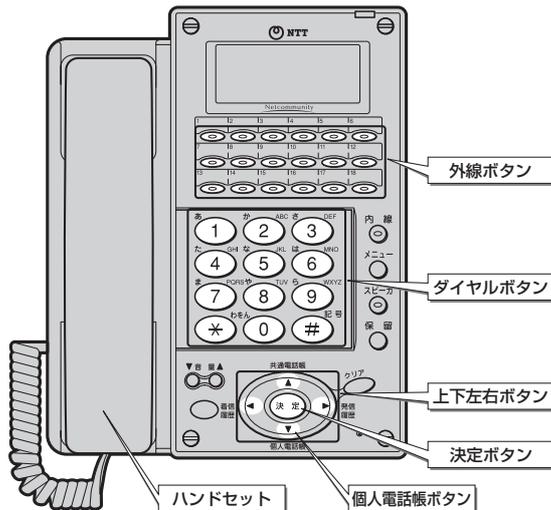
# 基本編変更内容

## ■ P54 お知らせが変更になりました。

### 2 IP多機能 電話機を使う

## 電話帳で電話をかけるには

登録してある電話帳を利用して電話をかけます。ここでは、個人電話帳で電話をかけるときの操作について説明しています。電話帳は、メモリ番号検索/行検索/グループ検索の3つの方法で検索することができます。



### 個人電話帳でかける

#### ●メモリ検索でかける

#### 1 個人電話帳ボタンを押す

個人電話帳 検索方法  
1: XEJ番号検索  
2: 行検索  
3: グループ検索



共通電話帳から電話をかけるときは、共通電話帳ボタンを押してください。

#### 2 メモリ番号検索の番号①をダイヤルボタンで押す

XEJ番号検索 個人  
XEJNo. 000  
↑ ↓: XEJ番号順



#### 3 検索するメモリ番号をダイヤルボタンで押す

メモリ番号のカーソルは左右ボタンで移動できます。



#### 4 決定ボタンまたは上下ボタンを押す

電話帳一覧が表示されます。

XEJ番号検索 個人  
000 鈴木次郎  
050 山田太郎  
070 中村三郎



#### お知らせ

- 外線ボタンを押してから、電話帳を選択することもできます。
- 手順6で、電話帳の内線番号表示中に電話をかけるときは、内線ボタンを押しても、電話帳から内線に電話をかけることができます。

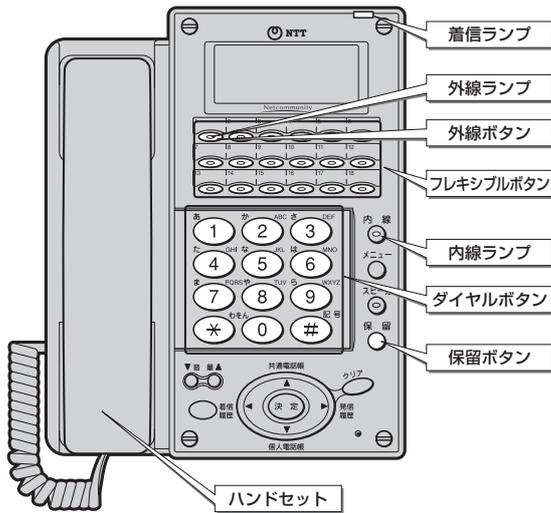
# 基本編変更内容

## ■ P68 お知らせが変更になりました。

### 2 IP多機能 電話機を使う

## 電話を取りつぐには（転送）

外の相手の方とのお話しや外線通話を他の内線に取りつぐことができます。  
外線へ転送することもできます。

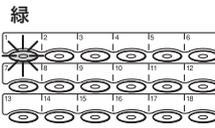


### 電話を取りつぐ（保留転送）

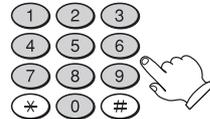
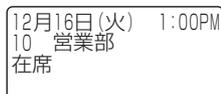
#### 呼び出す方

#### 1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、保留ボタンを押す

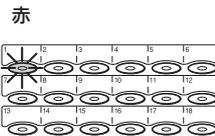
相手の方には保留メロディが流れます。  
「ツツツ…」という音を確認してください。  
外線ランプが周期的に2回点灯します。  
内線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



#### 2 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押す



#### 3 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置く



#### ワンポイント

- 単体電話機を呼び出すには  
手順2で単体電話機の内線番号をダイヤルします。
- 外線に転送するには（外外転送）
  - ①お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝え、保留ボタンを押す  
相手の方には保留メロディが流れます。  
外線ランプが周期的に2回点灯します。
  - ②空いている外線ボタンを押す
  - ③電話番号をダイヤルボタンで押す
  - ④相手の方が出たら、電話を取り次ぐことを伝え、ハンドセットを置く
- 外外転送を使うには  
データ設定が必要です。（応用編●P21）
- 外線に転送したときには  
転送した電話が終わるまで、こちらから転送先までの通話料金ががかかります。ご注意ください。

#### お知らせ

- VoIP-TAIに接続した単体電話機に取りつぐことはできません。
- VoIP-TAIに接続した単体電話機と、お話し中は、保留しないでください。
- 外外転送は一般加入電話回線ではご利用になれません。
- 保留ボタンを押したときに、ディスプレイに「パーク〇に〜」と表示された場合は、P66の手順で電話を取りつぎます。内線電話機をダイヤルして転送したい場合や、外線に転送したい場合は、P68の手順1の前にメニューボタンを押します。
- 単体電話機に取りついだときに、音声品質が安定するまでは数秒かかることがあります。
- 「電話を取りつぐ（保留転送）」の操作は、外線回線、外線ナンバー回線（●P112）では、ご利用になれません。パーク保留を利用し「電話を取りつぐ（共通転送）」（●P66）の操作をご利用ください。
- 「呼び出す方」の手順1から3の間で、一度ハンドセットを置くと、転送できません。

# 基本編変更内容

■ P76 ~ P79 不在着信転送設定およびディスプレイの表示が一部変更となります。

## 2 IP多機能 電話機を使う

### 不在のときに電話がかかってきたときは(不在転送)

離席中など不在にしているとき、かかってきた電話を一時的に他の内線電話機に転送できます。個別着信だけを転送できます。



#### ワンポイント

- 不在着信転送の設定を解除するときは
  - ①メニューボタンを押す
  - ②不在着信転送設定の番号 ③ をダイヤルボタンで押す
  - ③解除の番号 ② をダイヤルボタンで押す
  - ④設定を解除する「はい」の番号 ① をダイヤルボタンで押す
 ※ユーザ状態は「在席」に設定されます。
- 登録済みの転送番号への不在着信転送を起動するときは
  - ①メニューボタンを押す
  - ②不在着信転送設定の番号 ③ をダイヤルボタンで押す
  - ③設定の番号 ① をダイヤルボタンで押す
  - ④設定する「はい」の番号 ① をダイヤルボタンで押す
 ※ユーザ状態は、「不在」に設定されます。



#### お知らせ

- 内線グループ音声呼出、ドアホン着信、単体電話機、デジタルコードレス電話機からの内線着信は、転送先に転送されません。
- 転送先で不在着信転送の登録が行われていても、その先への転送はされません。(転送は1度まで)
- 複数の電話機から、同じ電話機に不在着信転送を登録することができます。
- 外線からの着信を不在着信転送すると、転送元、転送先ともに発信者番号が表示されます。
- 転送先の電話機がお話中のときや接続されていないときは、転送されません。
- 転送元がデジタルコードレス電話機の場合は転送されません。
- 電源アダプタやLANケーブルを抜き差しすると、不在着信転送は解除されます。

#### 不在着信転送を設定する (内線不在転送)

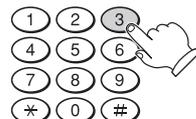
##### 1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

メニュー



##### 2 不在着信転送の番号 ③ をダイヤルボタンで押す

機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定



上下ボタンで選択したときは、決定ボタンを押してから次の手順に進みます。

##### 3 登録の番号 ③ をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1: 設定  
2: 解除  
3: 登録



##### 4 内線へ転送の番号 ① をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1: 内線へ転送  
2: 外線へ転送

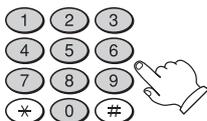


# 基本編変更内容

## 5 転送先の内線番号をダイヤルボタンで入力、決定ボタンを押す

転送先は1件だけです。

不在着信転送設定  
転送先内線番号:25



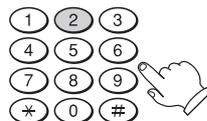
## 7 クリアボタンを押す

待ち受け画面に戻ります。



## 6 ツイン転送ありの番号②をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1:ツイン転送なし  
2:ツイン転送あり



不在着信転送設定  
登録しました。

不在着信転送が設定されます。

ユーザ状態は「不在」に設定されます。

- 「ツイン転送なし」を選択した場合は、転送元を呼び出し、転送元が応答しなかった場合には転送先を呼び出します。
- 「ツイン転送あり」を選択した場合は、転送元と転送先の両方を呼び出します。

1 前にお使いになる

2 1P多機能電話機を使う

3 単体電話機を使う

4 データ設定を行う

5 簡易DESCRIPTIONソフトを利用する

6 ご参考に



### ワンポイント

#### 転送起動時間について

ツイン転送なしを選択したときの転送起動時間はシステムタイムの設定に従います。変更するには特別な工事がが必要です。

# 基本編変更内容

## 2 IP多機能 電話機を使う

### 不在のときに電話がかかってきたときは(不在転送)

離席中など不在にしているとき、かかってきた電話を一時的に指定した番号の外線に転送できます。



#### ワンポイント

- 不在着信転送の設定を解除するときは
  - ① メニューボタンを押す
  - ② 不在着信転送設定の番号 ③ をダイヤルボタンで押す
  - ③ 解除の番号 ② をダイヤルボタンで押す
  - ④ 設定を解除する「はい」の番号 ① をダイヤルボタンで押す

※ ユーザ状態は「在席」に設定されます。
- 登録済みの転送番号への不在着信転送を起動するときは
  - ① メニューボタンを押す
  - ② 不在着信転送設定の番号 ③ をダイヤルボタンで押す
  - ③ 設定の番号 ① をダイヤルボタンで押す
  - ④ 設定する「はい」の番号 ① をダイヤルボタンで押す

※ ユーザ状態は、「不在」に設定されます。

#### お知らせ

- 内線グループ音声呼出、ドアホン着信、単体電話機、デジタルコードレス電話機からの内線着信は、転送先に転送されません。
- 転送先には転送元の電話機の発信者番号が通知されます。
- 転送時に使用する外線は、「空いている外線を選んで電話をかける(空き外線自動捕捉)」で選ばれる外線と同じです。(P34)
- 転送元がデジタルコードレス電話機の場合は転送されません。
- 電源アダプタやLANケーブルを抜き差しすると、不在着信転送は解除されます。
- 「固定電話から携帯電話への通話サービス(←P35)」を利用して転送先に携帯電話番号を登録した場合、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動付与します。

#### 不在着信転送を設定する (外線不在転送)

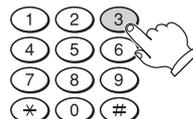
##### 1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

メニュー



##### 2 不在着信転送の番号 ③ をダイヤルボタンで押す

機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定



上下ボタンで選択したときは、決定ボタンを押してから次の手順に進みます。

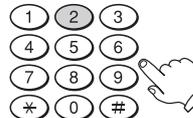
##### 3 登録の番号 ③ をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1: 設定  
2: 解除  
3: 登録



##### 4 外線へ転送の番号 ② をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1: 内線へ転送  
2: 外線へ転送

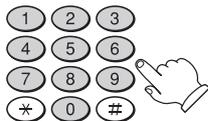


# 基本編変更内容

## 5 転送先の外線番号をダイヤルボタンで入力する

転送先は1件だけです。

不在着信転送設定  
転送先番号:03○○○○○○xx  
x



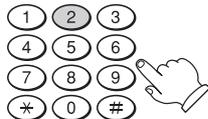
## 7 クリアボタンを押す

待ち受け画面に戻ります。



## 6 ツイン転送ありの番号 (2) をダイヤルボタンで押す

不在着信転送設定  
1:ツイン転送なし  
2:ツイン転送あり



不在着信転送設定  
登録しました。

不在着信転送が設定されます。

ユーザ状態は「不在」に設定されます。

- 「ツイン転送なし」を選択した場合は、転送元を呼び出し、転送元が応答しなかった場合には転送先を呼び出します。
- 「ツイン転送あり」を選択した場合は、転送元と転送先の両方を呼び出します。

1 前にお使いになる

2 1P多機能を使う

3 単体電話機を使う

4 データ設定を行う

5 DESKTOPソフトを利用する

6 参考に



### ワンポイント

#### 転送起動時間について

ツイン転送なしを選択したときの転送起動時間はシステムタイマの設定に従います。変更するには特別な工事がが必要です。

# 基本編変更内容

■ P114 ~ P115 個人電話帳で設定・参照できるデータが追加されました。

## 4 データ設定 を行う

### 個人電話帳を登録するには

#### 個人電話帳を登録する

各IP多機能電話機ごとに、個人電話帳を登録することができます。  
個人電話帳で設定・参照できるデータは次のようになります。

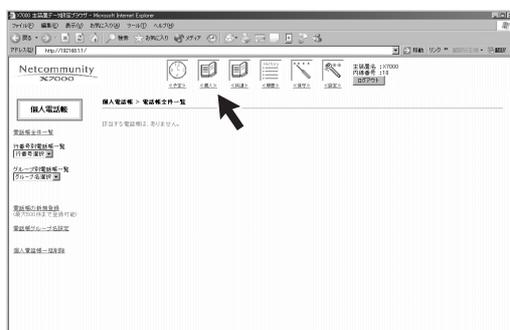
- 電話帳全件一覧  
個人電話帳に登録されている情報を一覧で確認できます。また、一覧の番号をクリックすると、電話帳の内容を変更・削除することができます。
- 行番号別電話帳一覧  
アイウエオ順または英数字別に絞り込んで、電話帳一覧を確認できます。
- グループ別電話帳一覧  
グループ別に絞り込んで、電話帳一覧を確認することができます。
- 電話帳の新規登録  
新しい個人電話帳を登録できます。
- 電話帳グループ名設定  
電話帳グループの名称変更が出来ます。ただし共通電話帳で使用しているグループ名は使用できません。  
電話帳グループは最大10グループまで登録できます。
- 個人電話帳一括削除  
個人電話帳を一括で削除することができます。

<例>新しい電話帳を登録するには

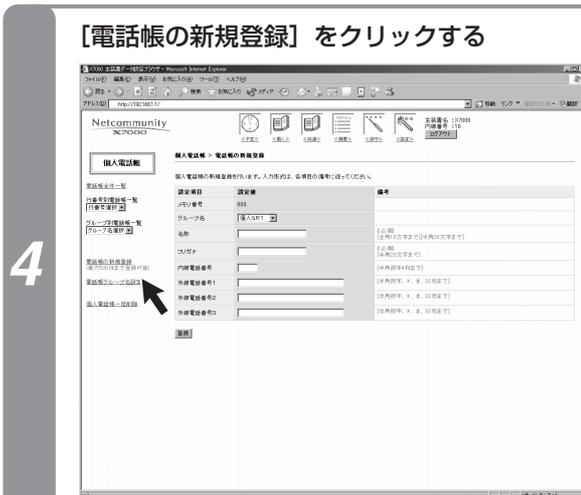
1 Webブラウザを起動する

2 「ユーザー名」に内線番号、「パスワード」に内線番号に設定されたパスワードを入力して、メインメニューを表示する

3 【個人】をクリックする



# 基本編変更内容



メモリ番号はあらかじめ設定されています。

5 「グループ名」を選択する

6 「名称」と「フリガナ」を入力する

7 「内線電話番号」、「外線電話番号」を入力する

8 【登録】 をクリックする

IP多機能電話機のディスプレイに「電話帳更新中」と表示され、しばらくすると待ち受け画面に戻ります。

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

2  
IP  
多  
機  
能  
電  
話  
機  
を  
使  
う

3  
使  
う  
単  
体  
電  
話  
機  
を

4  
行  
う  
デ  
ー  
タ  
設  
定  
を

5  
簡  
易  
C  
T  
I  
ソ  
フ  
ト  
を  
利  
用  
す  
る

6  
ご  
参  
考  
に

# 基本編変更内容

■ P116 ~ P117 手順5と7、ワンポイントの内容が変更になります。

## 4 データ設定 を行う

## ユーザ状態・転送先を設定するには

### ユーザ状態によって転送先を変える

各IP多機能電話機ごとに、ユーザ状態により転送先番号、ツイン転送、圏外転送の登録ができます。

1 Webブラウザを起動する

2 「ユーザー名」に内線番号、「パスワード」に内線番号に設定されたパスワードを入力して、メインメニューを表示する

3 「設定」をクリックする



4 「ユーザ状態別転送設定」をクリックする



# 基本編変更内容

1  
前に  
お  
使  
い  
に  
な  
る

5

## 「転送先番号」を入力する

- ・「番号種別」を内線番号、外線番号、設定なしから選びます。
- ・「ツイン転送」のする、しないを選びます。
- ・「転送番号」は、着信時の転送先電話番号を入力します。
- ・「ツイン転送する」を選択すると、転送元と転送先の両方を呼び出します。

2  
IP  
多  
機  
能  
を  
使  
う

6

## 「推奨する連絡手段」を入力する

- ・「番号種別」を内線番号、外線番号、メールアドレス、文字メッセージから選びます。
- ・「推奨する連絡手段」は、DESKPORTを使用した場合に、最適な発信先番号をお知らせする情報です。
- ・テキストボックスに内線番号、外線番号、メールアドレス、または文字メッセージの送信先内線番号を入力します。

3  
使  
う  
単  
体  
電  
話  
機  
を

7

## 続けて「在席」、「離席」、「会議中」、「休憩中」、「外出中」、「その他」についても設定する

8

## 「設定」をクリックする

4  
行  
う  
デ  
ー  
タ  
設  
定  
を

5  
簡  
易  
DESKPORT  
を  
利  
用  
す  
る

6  
ご  
参  
考  
に



### ワンポイント

#### ● 圏外転送を利用するには

圏外転送を利用するには、ユーザ状態「在席」欄の番号種別で内線番号／外線番号、及び「圏外転送」を選択し、転送先番号を入力します。

[設定]ボタンを押すとユーザ状態「不在」欄の転送先番号も同様に設定されます。

# 基本編変更内容

■ P123 ~ P124 共通電話帳で設定・参照できるデータが追加されました。

## 4 データ設定 を行う

### 共通電話帳を設定するには

#### 共通電話帳を登録する

100件の共通電話帳を登録することができます。  
共通電話帳で設定・参照できるデータは次のようになります。

- 電話帳全件一覧  
共通電話帳に登録されている情報を一覧で確認できます。また、一覧の番号をクリックすると、電話帳の内容を変更・削除することができます。
- 行番号別電話帳一覧  
アイウエオ順または英数字別に絞り込んで、電話帳一覧を確認できます。
- グループ別電話帳一覧  
グループ別に絞り込んで、電話帳一覧を確認することができます。
- 電話帳の新規登録  
新しい共通電話帳を登録できます。
- 電話帳グループ名設定  
電話帳グループの名称変更ができます。ただし個人電話帳で使用しているグループ名は使用できません。電話帳グループは最大10グループまで登録できます。
- 共通電話帳CSVファイルインポート/エクスポート  
共通電話帳は、CSVファイル形式でインポート/エクスポートすることができます。
- 共通電話帳一括削除  
共通電話帳を一括で削除することができます。

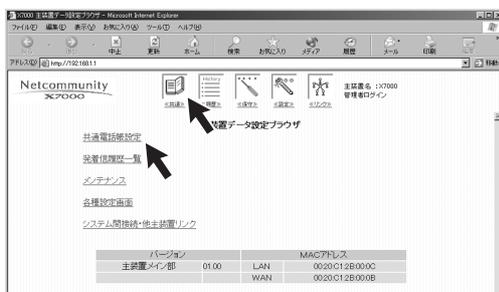
<例>新しい電話帳を登録するには

#### 1 Webブラウザを起動する

#### 2 「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、メインメニューを表示させる

お買い求め時の状態では、「ユーザー名：admin」、「パスワード：なし（空欄）」になっています。

#### 3 画面上側の【共通】、または画面左側の【共通電話帳設定】をクリックする



(次ページへつづく)

1  
前に  
お使  
い  
に  
な  
る

2  
一  
P  
多  
機  
能  
を  
使  
う

3  
使  
う  
単  
体  
電  
話  
機  
を

4  
行  
う  
デ  
ー  
タ  
設  
定  
を

5  
簡  
易  
D  
E  
S  
K  
T  
O  
P  
を  
利  
用  
す  
る

6  
ご  
参  
考  
に

# 基本編変更内容

## 4 データ設定 を行う

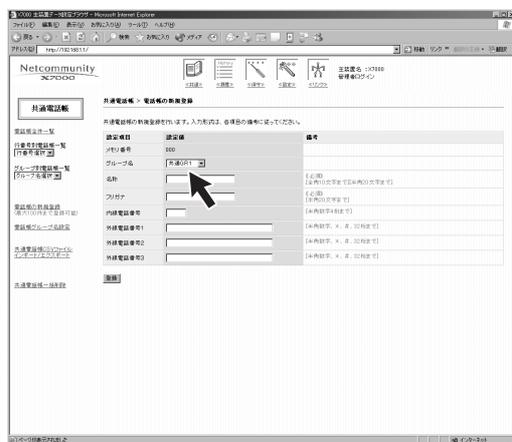
## 共通電話帳を設定するには

(前ページのつづき)

### 4 【電話帳の新規登録】をクリックする

メモリ番号はあらかじめ設定されています。

### 5 「グループ名」を選択する



### 6 「名称」と「フリガナ」を入力する

### 7 「内線電話番号」、「外線電話番号」を入力する

### 8 【登録】をクリックする

IP多機能電話機のディスプレイに、「電話帳更新中」と表示され、しばらくすると待ち受け画面に戻ります。

#### お知らせ

- 共通電話帳の登録、変更、削除、グループ名の変更ができるのは、管理者のみです。
- 内線ユーザの名称を表示する機能では、共通電話帳に設定した名称が使用されます。
- 共通電話帳に内線番号を登録すると、IP多機能電話機に名称が表示されます。同じ内線番号を複数件登録すると、メモリ番号の若い電話帳の名称が表示されます。
- 共通電話帳に表示できない漢字が含まれたCSVファイルをインポートした場合、表示できない漢字は「？」として表示されます。
- 共通電話帳を変更した場合には、かならず「保守」→「データ保存」を行ってください。データ保存を行わない状態で主装置の電源を切った場合には、変更された内容は保存されません。

# 基本編変更内容

## ■ P126 お知らせが変更になりました。

### 4 データ設定 を行う

## オートコールバックを設定するには

(前ページのつづき)

5 「コールバック番号」を入力する

6 [設定] をクリックする



### ワンポイント

#### ●オートコールバックを利用するには

- ①対象の電話番号の電話機から、主装置に接続されているINSネット64回線、IP電話サービスのいずれかの番号に電話をかけます。
  - ②呼出音（ブルブル）を1回聞いたら電話を切ります。
  - ③10秒ほど待つと、主装置から電話がかかります。
  - ④電話に出ると、呼出音（ブルブル）が聞こえます。
  - ⑤内線電話機が応答すると、電話につながります。
- ③で10秒以上待ってもかかってこない場合は、もう一度①から行ってください。



### お知らせ

- オートコールバックはINSネット64回線、IP電話サービスで利用できます。
- 着信通知メールと同時に設定している場合には、一定時間内で切断した場合にはコールバック、一定時間経過後には着信通知メールとなります。但し、不在着信設定をしている場合には、着信通知メールは通知されません。
- 非通知の着信の場合は、オートコールバックできません。
- 個別着信のみオートコールバックすることができます。
- 単体電話機の場合は、オートコールバック着信できません。
- 転送設定している電話機には、オートコールバックは着信できません。

# 応用編変更内容

## 変更

■ P19 電話機動作の設定（ユーザ・電話機設定）の表の内容は以下の内容に変更となります。

設定項目	説明	初期設定	
※端末種別	一般の電話機（通常端末）、管理者設定ができる電話機（管理者端末）、またはIPコードレス電話機を選択する	IP多機能電話機	
内線呼出設定	内線の呼出方法を「信号呼出」か「音声呼出」かを選択する	信号呼出	
オフフック外線自動捕捉	ハンドセットを取りあげたときに外線発信できる状態にするかを選択する	外線捕捉しない	
話中着信	通話中に内線着信を許可するかどうかを選択する	なし	
着信あり表示	外線着信に应答しなかった場合、「着信あり」を表示するかどうかを設定する	全着信表示	
着信自動応答	外線着信で非鳴動中の電話機のハンドセットをあげるだけで着信に自動応答するかどうかを設定する	自動応答あり	
ヘッドセット接続	ヘッドセットを接続して使用するかを選択する	なし	
ヘッドセット自動切断	ヘッドセットでお話中に、相手の方が電話を切った後、自動的に空き状態にするかを選択する	なし	
長時間通話警報送出	長時間通話警報をするかを選択する	なし	
キータッチトーン	ダイヤルボタンを押したときに確認音を出すかを選択する	あり	
※サービスクラス	昼/夜モードごとに、サービスクラスを選択する	クラス1	
発信者番号通知	外線発信時の発信者番号通知方法を回線ごとに設定する	発信者番号通知	通知する
		ISDN1 通知番号	契約者回線番号
		ISDN2 通知番号	契約者回線番号
		IP電話通知番号	契約者回線番号
発サブアドレス通知	外線発信時の発サブアドレス通知方法を端末ごとに設定する	なし	
着サブアドレスダイヤルイン	着サブアドレスダイヤルインを許可するかどうかを選択する	不許可	
着信通知メール	ダイヤルイン着信に应答しなかったときに、メールで通知するかを選択する	なし	
着信通知メールアドレス	着信通知メールの通知先アドレスを設定する	なし（設定範囲 最大64文字）	
※外外転送	外外転送を許可するかどうかを選択する	不許可	
※動作モード	SIP対応標準電話機の動作モードを「通常モード」か「携帯電話機モード」に設定する	通常モード	
※付加サービス対応	SIP対応標準電話機を収容し、保留・転送機能の対応の有無を選択する	対応する	
※被保留方式	SIP対応標準電話機を収容し、通信相手から保留要求を受けた際に被保留端末に通知する保留要求メッセージを「通常」か「タイプ1」または「タイプ2」に設定する	通常	
※転送方式	SIP対応標準電話機を収容し、転送先端末が通信中状態からの転送要求に対応しているか、対応していないかを「通常」か「タイプ1」に設定する	通常	
※メディア方式	SIP対応標準電話機を収容し、映像等のメディア情報が載った着信要求に対して正常に動作するか、動作しないかを「通常」か「音声通話のみ（G711）」に設定する	通常	
※着信時非通知方式	SIP対応標準電話機を収容し、外線からの着信において、非通知着信における主装置からの非通知方式を「通常」か「タイプ1」に設定する	通常	

# 応用編変更内容

設定項目	説明	初期設定
※詳細動作モード	SIP対応標準電話機を収容し、収容端末特有動作が必要な場合に「通常」か「モード1」に設定する	通常
※複数着信	SIP対応標準電話機を収容し、複数着信が可能かどうか設定する	しない
※緊急着信	SIP対応標準電話機を収容し、外線からの着信に対して、主装置が緊急番号着信として判断した場合、鳴動端末にするかどうかを設定する	対象

※管理者のみ設定可能

## ■ P36 DHCP サーバ設定の設定項目“DHCP サーバ”に対する初期設定を“使用しない”から“使用する”に変更します。

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
DHCPサーバ機能	DHCPサーバ機能を使うかどうか設定する	使用する／使用しない	使用する

# 応用編変更内容

■ P85 と P86 の間にファームウェア更新の設定が追加になりました。

## ■ファームウェア更新機能

### ファームウェア更新設定

ファームウェア更新機能とは、主装置が定期的にインターネット上の当社サーバとの通信を行い、最新ファームウェアを確認した場合に自動的にアップデートまたはお客様へ通知する機能です。

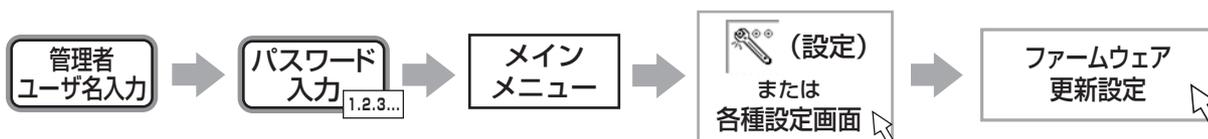
ファームウェアとは主装置、IP多機能電話機を動かす各種プログラム（ソフトウェア）のことで、次の2種類があります。

- ・ 強制ファイル：特に重要な機能・性能を向上させたファームウェア
- ・ 通常ファイル：機能・性能を向上したファームウェア

それぞれについてのアップデートの動作（方法）を、「動作モード」で設定します。

ファームウェア更新設定の画面を表示させるには

#### ●管理者設定



# 応用編変更内容

## ● ファームウェア更新設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
動作モード	強制ファイル／通常ファイル、それぞれのファイル種別毎にファームウェア更新動作を指定する	無効／ユーザ通知／自動更新	強制ファイル： 自動更新 通常ファイル： ユーザ通知
定刻ダウンロード開始時刻	動作モードが自動更新の場合に、センターに対して毎日行う定刻ダウンロードの開始時刻を設定する 最新ファイルのない場合にはダウンロードは行われない	00時00分～23時59分	04時00分
自動再起動開始時刻	手動ダウンロードを行い、ダウンロード済みファイルがある場合にファイルの書き換えのため、自動的に主装置再起動を行う時刻を設定する	00時00分～23時59分	02時00分

### 動作モード

バージョンアップセンタに最新ファームウェアがある場合の動作モードを強制ファイル、通常ファイルそれぞれに対して設定します。

それぞれのモードについて以下に示します。

1

- ①無効 : ユーザ通知及びダウンロードを行いません。
- ②ユーザ通知 : 主装置のブラウザトップ画面、主装置情報（メンテナンス）のバージョンアップ情報、管理者IP多機能電話機LCD表示により更新ファイルがあることを確認できます。ブラウザ、管理者IP多機能電話機からの操作により、ダウンロード／再起動を実行後にプログラムが有効になります。
- ③自動更新 : 定刻ダウンロード開始時刻に設定された時刻（04：00に設定されている場合にはAM4：00+1～60分のランダム時間）にダウンロードを行い、システムを利用した外線通話をしていないときに自動的に再起動します。

### 定刻ダウンロード開始時刻

2

動作モードが自動更新の場合に、センターに対して毎日行う定刻ダウンロードの開始時刻を設定します。設定された時刻（04：00に設定されている場合にはAM4：00+1～60分のランダム時間）にダウンロードを行い、システムを利用した通話をしていないときに自動的に再起動します。  
最新ファイルのない場合にはダウンロードは行われません。

### 自動再起動開始時刻

3

手動によるファームウェア更新を行い、ダウンロード済みファイルがある場合にファイルの書き換えのため、自動的に主装置再起動を行う時刻を設定します。



### お知らせ

- 強制ファイルのアップデートを行わない場合には、本来の機能・性能を発揮できない場合があります。

# 応用編変更内容

■ P40 ~ P43 WAN 接続設定（プロバイダエントリ）の内容が変更となります。

## 4 ルータ機能の 設定を行う

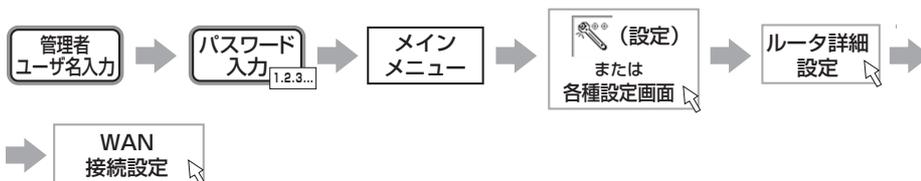
## ルータ設定をする

### WAN接続設定（プロバイダエントリ）

WAN接続設定（プロバイダエントリ）は、フレッツ・ADSL/Bフレッツの接続設定を行います。接続モードは、PPPoEによる接続、固定IPアドレスによる接続から選択できます。接続先の最大登録数は、6です。なお、この取扱説明書で説明する設定項目のプロバイダエントリは、WAN接続設定で設定した接続先を示します。

WANの接続設定画面を表示するには

●管理者設定



# 応用編変更内容

## ● WAN接続設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
ファームウェア更新用インタフェース	ファームウェア更新で使用するインタフェースを選択する	使用しない/LAN/PPPoE No.1~No.5/固定IPアドレス	使用しない
IP電話用プロバイダ	IP電話で使用するプロバイダを選択する	使用しない/PPPoE No.1~No.5	使用しない
IP電話用デフォルトゲートウェイ	IP電話で使用するデフォルトゲートウェイを入力する	—	—
接続モード			
PPPoE	PPPoEによりアドレスを取得する場合に選択する	—	—
固定IPアドレス	IPアドレスを固定して使用する場合に選択する	—	—
接続先名	接続先の名称を入力する	最大8文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—
IPアドレス/ネットマスク	IPアドレスとネットマスク値を入力する	X.X.X.X/Y X:0~255 10進数 Y:1~32 10進数	—
接続先の認証方法			
認証方法	認証方法を選択する	PAP/CHAP/なし	PAP
接続ユーザ名	プロバイダから指定されたユーザ名を入力する	最大128文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—
接続パスワード/接続パスワード確認	プロバイダから指定されたパスワードを入力する	最大32文字（制御コードを除くASCII文字）	—
デフォルトゲートウェイ指定	デフォルトゲートウェイとして使用する場合は、チェックを入れる	しない/する	する
MTU設定	MTUの値を入力する	68~1492	1454
Unnumbered指定	Unnumberedによる運用の場合にチェックを入れる	しない/する	しない
DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの取得方法を選択する アドレス指定の場合は、プライマリDNSサーバアドレスとセカンダリDNSサーバアドレスを設定する	自動/アドレス指定	自動
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定する	X.X.X.X X:0~255 10進数	—
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリDNSサーバがあれば、IPアドレスを設定する	X.X.X.X X:0~255 10進数	—
自動接続	起動時に自動で接続を行う場合に設定する	しない/する	する



### お知らせ

- ファームウェア更新用インタフェースの設定は、登録されているインタフェースの状況により設定/変更ができない場合があります。工事をご依頼ください。
- IP電話用デフォルトゲートウェイの設定は、特別な工事が必要になります。工事をご依頼ください。

1  
電話機能一覧

2  
IP多機能の設定を電

3  
電話機能の

4  
ルータ機能の

5  
主装置の運用

6  
ご参考に

## 4 ルータ機能の 設定を行う

### ルータ設定をする

#### ■WAN接続設定を行うには

##### 新規登録する場合

1. 「WAN接続エントリ新規追加」で必要項目を入力する
2. [追加]をクリックする
3. 確認画面で[OK]をクリックする
4. [設定]をクリックする

##### 削除する場合

1. 一覧の中から該当するエントリにチェックを入れる
2. [削除]をクリックする
3. 確認画面で[OK]をクリックする
4. [設定]をクリックする

##### 変更する場合

1. 一覧の中から該当する[編集]をクリックする
2. 「WAN接続設定編集」画面で変更を行う
3. [編集]をクリックする
4. 確認画面で[OK]をクリックする
5. [設定]をクリックする

#### ■PPPoEによる接続設定を行うには

### 1

##### 接続先名

接続先名を入力します。

##### 認証方法

- ・プルダウンメニューから、相手からの認証要求を受け入れるかを設定します。
- ・接続先の認証を「PAP」または「CHAP」に設定した場合は、通常、接続ユーザ名/接続パスワードを入力します。

### 2



##### お知らせ

- 接続ユーザ名/接続パスワードは、プロバイダから指定され、アカウント名/アカウントパスワード、ログイン名/ログインパスワード等と呼ばれる場合があります。
- 接続先の認証方法を「なし」に設定した場合、接続ユーザ名/接続パスワードは設定する必要がありません。
- 接続パスワードは、「●●●●」や「\*\*\*\*」などで表示されます。

**3** デフォルトゲートウェイ指定  
デフォルトゲートウェイとして使用する場合に指定します。

**4** MTU設定  
プロバイダからMTUの値の指定があった場合、数値を入力します。

**5** Unnumbered (アンナンバード) 指定  
プロバイダから取得した複数のグローバル固定IPアドレスをLANで使用する場合に設定します。

**6** DNSサーバアドレス  
設定中のPPPoE接続において、DNSサーバアドレスの取得方法を選択します。通常は、自動で取得しますが、自動で取得できない場合やプロバイダからの指定がある場合は、プライマリDNSサーバアドレスとセカンダリDNSサーバアドレスを設定します。

**7** プライマリDNSサーバアドレス  
プライマリDNSサーバアドレスの指定がある場合に設定します。

**8** セカンダリDNSサーバアドレス  
セカンダリDNSサーバアドレスの指定がある場合に設定します。

**9** 自動接続  
起動時に自動で接続を行う場合に指定します。

## ■固定IPアドレスによる接続設定を行うには

**1** 接続先名  
接続先名を入力します。

**2** IPアドレス  
IPアドレスを入力します。

**3** ネットマスク  
ネットマスクは“/”の後ろに入力してください。

1  
電話機能一覧

2  
1P多機能の  
電話機能の設定を行う

3  
電話機能の設定を行う

4  
ルータ機能の設定を行う

5  
主装置の運用

6  
ご参考に

## 4 ルータ機能の 設定を行う

### ルータ設定をする



#### お知らせ

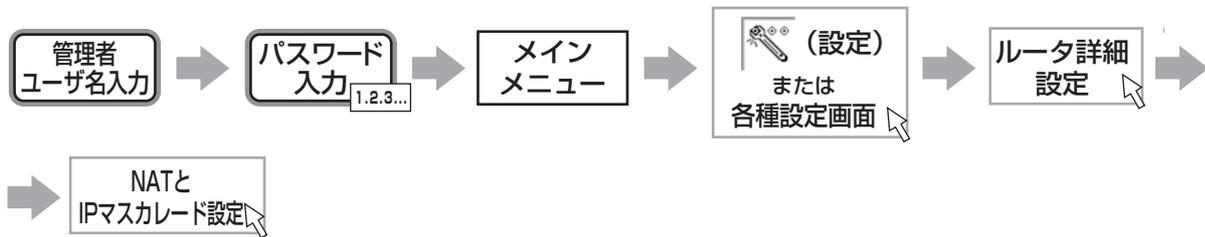
- ファームウェア更新用インタフェースでは、インターネットに接続できるインタフェースを選択する必要があります。
- デフォルトゲートウェイ指定を設定したプロバイダエントリとIP電話用プロバイダが異なる場合、IP電話が使用できません。
- プロバイダエントリのデフォルトゲートウェイ設定とルーティング設定のデフォルトルート設定において、デフォルトゲートウェイとしての設定がどちらにも設定されない場合、正常に動作できません。
- MTUの値が適切に設定されていない場合、特定のWebページが表示できないなどの問題が発生する場合があります。
- PPPoEによる接続設定は「設定」をクリックした時点で有効になります。PPPoEマニュアル接続の画面において、手動で接続を開始できます。ただし、自動接続の設定は主装置の再起動後に有効になります。
- 無効と表示されているエントリは、ファームウェア更新用インタフェース及び、プロバイダエントリとして使用できません。

# 応用編変更内容

- P47～P50のNATとIPマスカレード設定で以下の項目が追加／変更となりましたので、変更します。
- P47 設定画面の変更

NATとIPマスカレード設定画面を表示するには

- 管理者設定



# 応用編変更内容

■P48 アドレス変換設定の設定項目“変換種別”に対する、設定範囲を以下のように変更します。

●アドレス変換設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
PPPoE接続1～5	PPPoEによる接続ごとにアドレス変換の設定をする		
変換種別	アドレス変換の種別を選択する	IPマスカレード/NAT/しない	IPマスカレード
WAN側アドレス範囲	WAN側のグローバルIPアドレスが複数割り当てられる場合に範囲を設定する	X.X.X.X X：0～255 10進数	なし
LAN側アドレス範囲	アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスを選択する	全てを対象/LAN側ネットワークアドレス範囲を対象/指定アドレスを対象	全てを対象
LAN側指定アドレス	特定の指定アドレスと通信する場合に設定する	X.X.X.X/ネットマスク X：0～255 10進数	なし
固定IPアドレス・DHCPクライアント	固定IPアドレス、またはDHCPクライアントによる接続の場合にアドレス変換を使用するかしないかを設定する		
変換種別	アドレス変換の種別を選択する	IPマスカレード/NAT/しない	IPマスカレード
WAN側アドレス範囲	WAN側のグローバルIPアドレスが複数割り当てられる場合に範囲を設定する	X.X.X.X X：0～255 10進数	なし
LAN側アドレス範囲	アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスを選択する	全てを対象/LAN側ネットワークアドレス範囲を対象/指定アドレスを対象	全てを対象
指定アドレス	特定の指定アドレスと通信する場合に設定する	X.X.X.X/ネットマスク X：0～255 10進数	なし

# 応用編変更内容

■P49 アドレス変換設定PPPoE 接続1～5/固定IP・DHCPクライアントを以下のように変更します。

## ■アドレス変換設定PPPoE接続1～5/固定IP・DHCPクライアント

### 変更する場合

1. 一覧の中から該当する[編集]をクリックする
2. 変更を行う
3. [編集]をクリックする
4. 確認画面で[OK]をクリックする
5. [設定]をクリックする

PPPoE接続と固定IP・DHCPクライアントによる接続の各接続先ごとにアドレス変換を設定する。

変換種別の設定内容は以下の通りです。

種別	変換内容
IPマスカレード	1つのグローバルIPアドレスを複数のLAN内の端末で共有する場合
NAT	グローバルIPアドレスをLAN内の特定の端末とアドレス変換する場合
しない	アドレス変換なし

WAN側アドレス範囲は、プロバイダから複数のグローバルIPアドレスが割り当てられる場合に、アドレスの範囲を設定します。NATによる静的NATのグローバルIPアドレスは、この範囲から割り当てます。

LAN側アドレス範囲は、アドレス変換の対象とするLAN側のIPアドレスまたはネットワークアドレスの範囲を設定します。[LANインタフェースのネットワークアドレス範囲を対象]を選択した場合は、LANインタフェースと同一のネットワークアドレスからのパケットのみ変換の対象とし、その他のパケットは廃棄します。

[指定アドレスを対象]を選択した場合は、指定のネットワークアドレスまたはホストからのパケットのみ変換の対象とし、その他のパケットは廃棄します。

■P51 デフォルトルート設定で以下の項目が追加/変更となりましたので、追加/変更します。

### ●デフォルトルート設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
WAN接続設定 (PPPoE)	「WAN接続設定 (PPPoE)」の内容を表示する	—	—
アドレス指定	経路先のIPアドレスを入力する	X.X.X.X X: 0~255 10進数	なし
ホップ数	経路先の距離 (コスト/ホップ数) を設定する	1~15	なし

# 応用編変更内容

■P56～P57のIPパケットフィルタリング設定で以下の項目が変更となります。

■P56 IPパケットフィルタリング設定の設定項目“範囲選択”に対する設定範囲を以下のように変更します。

## ●IPパケットフィルタリング設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
表示インタフェース選択	フィルタリング設定を行うインタフェースを選択する	LAN側/WAN側PPPoE No.1～5/WAN側固定IPアドレス・DHCPクライアント	LAN側
方向	フィルタリング設定を適用する方向を選択する	入力/出力	入力
動作	フィルタリング設定の動作を選択する	遮断/透過	遮断
送信先設定	フィルタリングするIPパケットの送信先のアドレス情報を設定する		
IPアドレス	IPアドレスまたはネットワークアドレスを設定する	指定無し/アドレス入力	指定無し
ネットマスク	IPアドレスがネットワークアドレスの場合、ネットマスクの値を設定する	指定無し/1～32	指定無し
範囲選択	フィルタリングするポート番号の適用範囲を選択する	等しい：＝ より小さい：≤ より大きい：≥ 範囲：≥≤	等しい：＝
ポート番号	フィルタリングするポート番号を設定する。範囲選択で“範囲”を選択した場合はポート番号をスペースで区切り2つ入力する。指定無しの場合は、範囲選択は無効	指定無し/ 1～65535（10進数）	指定無し
送信元設定	フィルタリングするIPパケットの送信元のアドレス情報を設定する		
IPアドレス	IPアドレスまたはネットワークアドレスを設定する	指定無し/アドレス入力	指定無し
ネットマスク	IPアドレスがネットワークアドレスの場合、ネットマスクの値を設定する	指定無し/1～32	指定無し
範囲選択	フィルタリングするポート番号の適用範囲を選択する	等しい：＝ より小さい：≤ より大きい：≥ 範囲：≥≤	等しい：＝
ポート番号	フィルタリングするポート番号を設定する。範囲選択で“範囲”を選択した場合はポート番号をスペースで区切り2つ入力する。指定無しの場合は、範囲選択は無効	指定なし/ 1～65535（10進数）	指定無し

# 応用編変更内容

## ■ P57 4 送信先設定、送信元設定で以下の項目が変更となりましたので変更します。

### 4

#### 送信先設定、送信元設定

フィルタリング設定を適用するIPパケットの送信先、送信元の情報を設定します。

IPアドレス、ネットマスク、ポート番号を設定できます。

IPアドレスは、ホストアドレスまたはネットワークアドレスを設定できます。ホストアドレスの場合は、ネットマスクの値に32を指定してください。ネットワークアドレスの場合は、ネットワークアドレスのマスク値を指定してください。

選択範囲とポート番号は、フィルタリングの対象とするポート番号に関する設定をします。

選択範囲が“=”：設定したポート番号に一致するIPパケットが対象となります。

選択範囲が“≤”：設定したポート番号以下の値のIPパケットが対象となります。

選択範囲が“≥”：設定したポート番号以上の値のIPパケットが対象となります。

選択範囲が“≥≤”：設定したポート番号の範囲のIPパケットが対象となります。範囲を指定する2つの数値をスペースで区切って入力します。

IPアドレス、ネットマスク、ポート番号のフィールドが空きの場合は、“指定無し”となります。

選択範囲が“指定無し”の場合は、ポート番号の値は無効となります。

# 応用編変更内容

■P58～P59 HTTPサービスの利用ホスト制限設定で以下の項目が変更となります。



設定項目	説明	設定範囲	初期設定
利用を許可するホスト	常に利用を許可するホストを選択する	LAN側ネットワーク内であれば許可する／指定したIPアドレスを許可する	LAN側ネットワーク内であれば許可する
IPアドレス指定	指定したIPアドレスまたはサブネットワークを許可するときに入力する	IPアドレス指定の場合：X.X.X.X ネットワークアドレス指定の場合：X.X.X.X/Y X：0～255 10進数 Y：ネットマスク 1～30	なし

## 利用を許可するホスト

以下の項目を追加で選択することができます。

- ・ 指定したIPアドレスを許可する

1



### お知らせ

- LAN設定で設定したIPアドレスと同一のサブネットワークは、常に許可しています。

# 応用編変更内容

■P60～P61 FTPサービスの利用ホスト制限設定で以下の項目が変更となります。



設定項目	説明	設定範囲	初期設定
利用を許可するホスト	利用を許可するホストを選択する	LAN側ネットワーク内であれば許可する／指定したIPアドレスを許可する	LAN側ネットワーク内であれば許可する
IPアドレス指定	指定したIPアドレスまたはサブネットワークを許可するときに入力する	IPアドレス指定の場合：X.X.X.X ネットワークアドレス指定の場合：X.X.X.X/Y X：0～255 10進数 Y：ネットマスク 1～30	なし

## 利用を許可するホスト

以下の項目を追加で選択することができます。

- ・指定したIPアドレスを許可する

1



### お知らせ

- LAN設定で設定したIPアドレスと同一のサブネットワークは、常に許可しています。

# 応用編変更内容

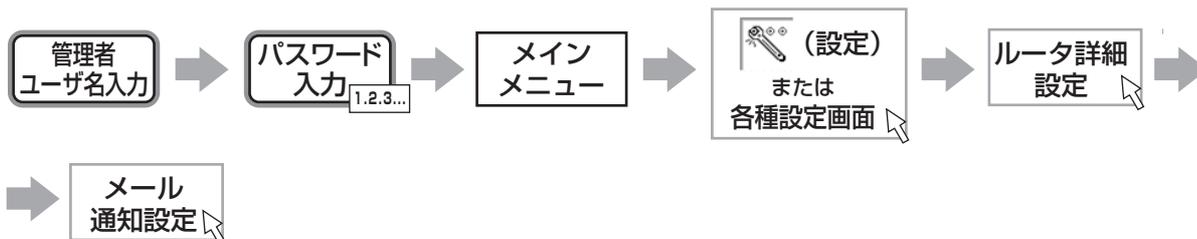
■P63～P64のメール通知設定の設定項目およびブラウザ画面が変更となります。

## メール通知設定

着信通知メールで使用する送信先メールサーバの設定を行います。

メール通知設定画面を表示させるには

### ●管理者設定



### ●メール通知設定

設定項目	説明	設定範囲	初期設定
メール通知機能	メール通知機能を使うかどうか設定する	使用する／使用しない	使用しない
送信メールサーバアドレス	送信メール（SMTP）サーバのIPアドレス、またはホスト名を設定する	IPアドレス：X.X.XX X：0～255 10進数 ホスト名：最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—
メールアドレス	プロバイダのメールアドレスを設定する	最大128文字	—
POP before SMTP	POP before SMTPを使用する場合に設定する	指定無し／POP before SMTPを使用する	指定無し
メールアカウント	POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントを設定する	最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—
メールアカウントパスワード／メールアカウントパスワード確認	POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントのパスワードを設定する	最大32文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—
POPサーバアドレス	POP before SMTPを使用する場合に、POPサーバのIPアドレス、またはホスト名を設定する	IPアドレス：X.X.XX X：0～255 10進数 ホスト名：最大63文字（制御コード、スペースを除くASCII文字）	—

# 応用編変更内容

1

## メール通知機能

メール通知機能を使用するかどうか選択します。

2

## 送信メールサーバアドレス

送信メール（SMTP）サーバのIPアドレス、またはホスト名を設定します。

3

## メールアドレス

プロバイダのメールアドレスを設定します。

4

## POP before SMTP

メール送信時に、POP認証が必要な場合に設定します。

5

## メールアカウント

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POP認証に使用するメールアカウントを設定します。

6

## メールアカウントパスワード／メールアカウントパスワード確認

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POP認証に使用するメールアカウントのパスワードを設定します。

7

## POPサーバアドレス

POP before SMTPにチェックを入れた場合に、POPサーバのIPアドレス、またはホスト名を設定します。

# 応用編変更内容

■ P65 の内容が以下のように変更になりました。

## 5 主装置の運用

### 主装置の運用方法について

メインメニューからマニュアル操作やレポート表示が可能です。

#### 運用時に利用できる操作

●運用時に利用できる操作は以下のとおりです。

- 主装置情報
- 設定データ一覧
- 管理者アカウント設定
- システムデータバックアップ/リストア
- システム情報ダウンロード
- ファームウェア更新（自動/手動）
- ローカルファームウェア更新
- リモートメンテナンス
- リモートメンテナンス更新情報
- 主装置動作ログ表示
- ファームウェア更新ログ表示
- 全ログ表示
- IP電話接続・切断
- PPPoEマニュアル接続
- DHCP再取得
- PING
- 接続先情報
- パケット統計情報
- IPルーティング情報
- DNSキャッシュテーブル
- DHCP割り付け状態
- ARPテーブル
- ルータ設定一覧表示
- 再起動
- データ保存

1  
電話機能  
一覧

2  
IP多機能  
の設定を  
行う

3  
電話機能  
の設定を  
行う

4  
ルータ機能  
の設定を  
行う

5  
主装置の  
運用

6  
ご参考  
に

# 応用編変更内容

■ P66 の内容が以下のように変更になりました。

## 5 主装置の運用

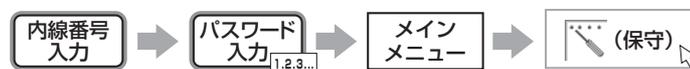
### 主装置の運用方法について

#### 主装置情報

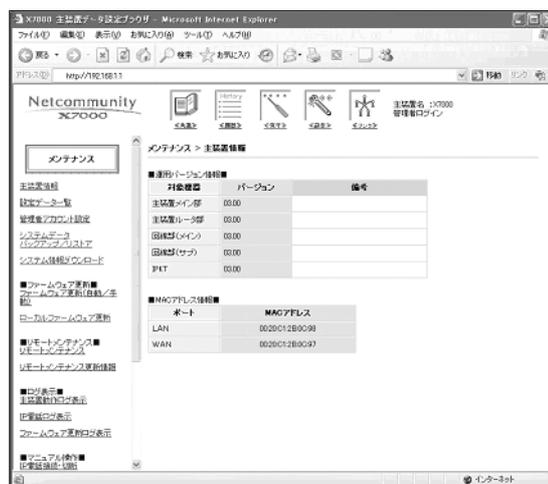
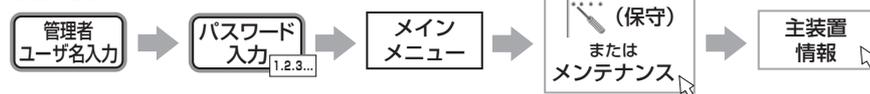
主装置の情報（ソフトウェアバージョンやMACアドレス）を参照することができます。

主装置情報画面を表示させるには

●ユーザ設定



●管理者設定



#### 1

各対象機器ごとに現在運用中のバージョンが表示されます

# 応用編変更内容

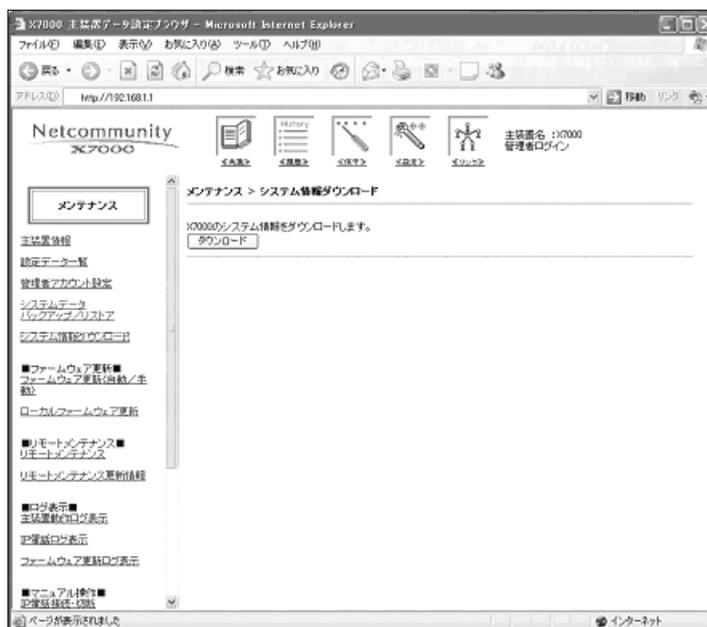
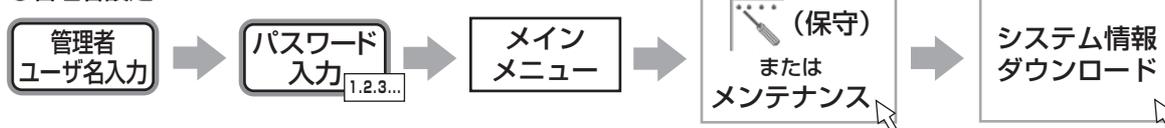
■ P67 が削除となり、P71 と P72 の間に以下の項目が追加になりました。

## システム情報ダウンロード

システムの各種情報をダウンロードすることができます。

システム情報ダウンロード画面を表示させるには

●管理者設定



### 1 ダウンロード

システム情報のダウンロードを行います。



#### ワンポイント

- [ダウンロードボタン]をクリックするとシステム情報のダウンロードを開始します。システム情報に含まれる主な情報は次のとおりです。
  - 「主装置バージョン情報」
  - 「設定データ一覧」
  - 「ルータ部バックアップデータ」
  - 「主装置動作ログ」
  - 「ファームウェア更新ログ」
  - 「DHCP 割り付け状態」
  - 「ARP テーブル情報」
- ダウンロードされたファイルには複数のファイルが含まれています。また、ファイルの圧縮方式としてtar、gz方式を利用しています。tar形式、gz形式のファイルを解凍ソフトで解凍すると、各情報をテキストで見ることが可能です。
- ご利用のテキストエディタの設定によっては文字化けする場合があります。その際は、テキストエディタの設定で日本語文字コードを、EUCまたはShift-JISに変更してください。

# 応用編変更内容

■ P67 が削除となり、P71 と P72 の間に以下の項目が追加になりました。

## ファームウェアを更新するには

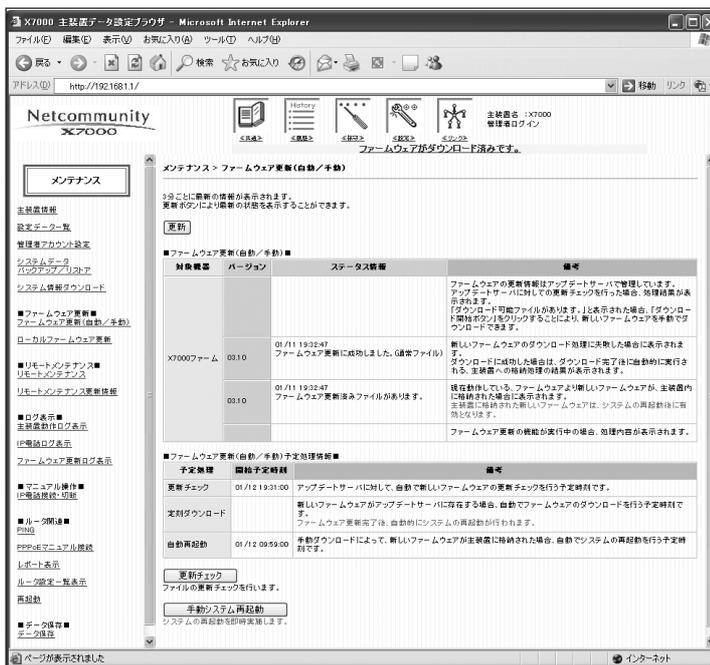
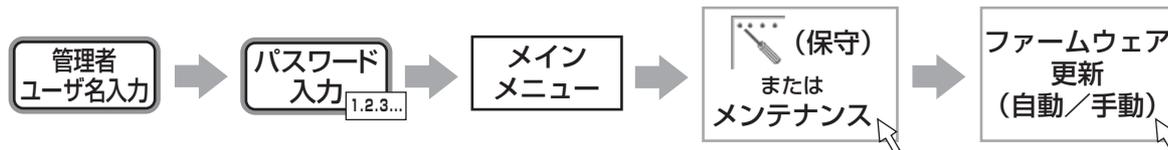
システムの最新のプログラムをダウンロードしてバージョンアップすることができます。  
バージョンアップには、ファームウェア更新（自動／手動）とローカルファームウェア更新の2種類が用意されています。

## ファームウェア更新

インターネット上のサーバから最新のファームウェアを自動的にダウンロードする機能です。  
ファームウェア更新は、ブラウザまたは管理者IP多機能電話機からの操作により手動で行うこともできます。

ファームウェア更新（自動／手動）画面を表示させるには

### ●管理者設定



## 1 更新チェック

ファイルの更新チェックを行います。

## 2 ダウンロード開始

更新ファイルのダウンロードを開始します。

# 応用編変更内容

3

## ダウンロードの中断

ファイルのダウンロードを中断します。

4

## 手動システム再起動

システムの再起動を即時実施します。



### お願い

ダウンロード中は、絶対に以下の操作を行わないでください。

- \*主装置の「WANポート」からLANケーブルを抜く。
- \*主装置の電源を切る。



### お知らせ

- ファームウェア更新機能を利用するには、インターネット接続および一部設定が必要になります。設定方法に関しては、本書、ファームウェア更新設定（P19）を参照してください。
- ファームウェア更新でプログラムの格納を開始した場合、それ以降現在動作中のIP多機能電話機のバージョンと異なるIP多機能電話機からログインすることは再起動されるまでできません。
- 工場出荷状態から電源をONにし、ファームウェア更新機能によりバージョンアップのファイルがあった場合には、ダウンロード後、外線通話状態の監視を行わず、即時再起動されます。
- ファームウェア更新中に主装置の電源を落とした場合に、WEB画面上に「回線部、IPKTのファイルが格納されていません」と表示される場合があります。この表示がされた場合、動作中のIP多機能電話機と異なるバージョンのIP多機能電話機からログインすることはできません。ファームウェア更新機能により、再度ファームウェアが正常にダウンロードされ再起動されることでログインが可能になります。

# 応用編変更内容

ファームウェア更新を管理者IP多機能電話機から行うには



## 更新チェックを行う

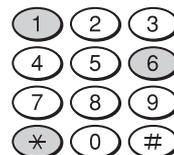
1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定



2 更新チェックの番号 (\* 6 1) をダイヤルボタンで押す

更新チェック  
運用バージョン: 03.00  
最新バージョン: 03.10  
ダウンロード可能ファイルあり



# 応用編変更内容

## ファームウェアのダウンロードを行う

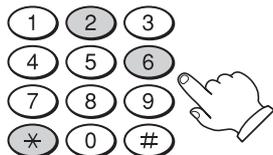
### 1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定



### 2 更新チェックの番号 \* 6 2 をダイヤルボタンで押す

ファームウェアダウンロード  
ダウンロード開始します。



### 3 ダウンロードが完了したら、主装置の再起動を行う

ダウンロードに成功した場合、管理者IP多機能電話機のディスプレイには「強制ファームウェアダウンロード済み」または「ファームウェアダウンロード済み」と表示されます。

12月16日(火) 0:00PM  
10 営業部  
ファームウェアダウンロード済み

## 主装置の再起動を行う

### 1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

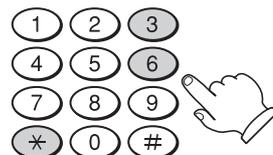
機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定



### 2 主装置再起動の番号 \* 6 3 をダイヤルボタンで押す

システムの再起動を実行していいか確認する画面が表示されます。

システムを再起動します。  
よろしいですか?  
1: はい  
0: いいえ



### 3 確認実行の番号 1 をダイヤルボタンで押す

主装置再起動  
主装置の再起動を開始します。



### 4 主装置再起動処理が開始され、再起動後、新しいバージョンでの運用となる

再起動処理が行われた場合、全IP多機能電話機のディスプレイには「主装置再起動中」と表示されます。

12月16日(火) 0:00PM  
10 営業部  
主装置再起動中

# 応用編変更内容

## 主装置再起動時刻設定する

手動ダウンロード完了後に自動で再起動する時刻を、一時的にメニューから変更することができます。

### 1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

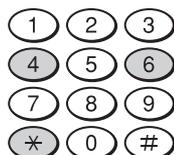
機能メニュー  
1: ユーザ状態変更  
2: 他ユーザ状態表示  
3: 不在着信転送設定

メニュー



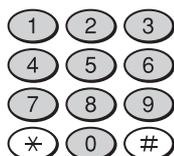
### 2 再起動時刻設定の番号（\*）64をダイヤルボタンで押す

再起動時刻設定  
02時00分



### 3 再起動時刻をダイヤルボタンで入力、決定ボタンを押す

再起動時刻設定  
主装置再起動時刻の  
設定完了しました。



### お知らせ

- 「強制ファームウェアあり」、「ファームウェアあり」、「強制ファームウェアダウンロード済み」および「ファームウェアダウンロード済み」の各表示については管理者IP多機能電話機のみに表示されます。
- 管理者IP多機能電話機やブラウザからの更新チェック、または自動更新チェックによってファームウェアがあった場合、管理者IP多機能電話機のディスプレイに「強制ファームウェアあり」「ファームウェアあり」が表示されます。
- 「強制ファームウェアあり」「ファームウェアあり」が表示されていない状態では、ファームウェアダウンロード操作を行うことはできません。
- 「強制ファームウェアダウンロード済み」および「ファームウェアダウンロード済み」が表示されていない状態では、主装置再起動操作を行うことはできません。
- ダウンロード済み状態になっても、主装置の再起動をするまでは新しいバージョンでの動作はしません。
- 手動ダウンロードが完了するとシステムに登録した時間に再起動を行います。
- ファームウェア更新完了後の再起動は、外線と通話状態を監視しています。外線との通話が1分間ない場合に開始されます。
- 再起動時刻設定で設定された時刻は、手動によるファームウェアダウンロード操作後の自動再起動時刻として使用されます。
- 再起動時刻設定により設定された時刻は、一時的な設定として使用され、データ保存が行われません。（再起動後は設定前の時刻となります。）
- 管理者IP多機能電話機のメニューからの再起動は、外線通話がない場合にのみ設定することができます。



### お願い

ダウンロード中は、絶対に以下の操作を行わないでください。

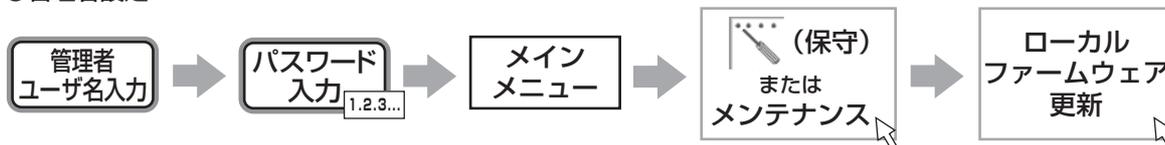
- \* 主装置の「WANポート」からLANケーブルを抜く。
- \* 主装置の電源を切る。

# 応用編変更内容

## ローカルファームウェア更新

主装置のブラウザ設定を表示するパソコンから、最新のファームウェアを手動で主装置にアップロードする機能です。ローカルファームウェア更新画面を表示させるには

### ●管理者設定



1

### バージョンアップファイルを指定する

[参照] をクリックして、バージョンアップファイルを指定します。

2

### アップロードする

[アップロード] をクリックし、バージョンアップファイルをアップロードします。

3

### アップロード処理が完了すると、アップロード完了画面が表示される



### ワンポイント

- 自動再起動を選択した場合、ファイルのアップロード後に主装置が自動的に再起動してバージョンアップ完了になります。自動再起動にチェックが入っていない場合、アップロード完了後主装置の自動再起動は行われません。アップロード完了後、メンテナンスの再起動から主装置再起動を行ってください。

### STOP お問い合わせ

[アップロード]をクリックしたあとは、画面の移動は行わないでください。画面の移動を行った場合、アップロード処理中は、主装置のINFO ランプが点滅しますので、消灯してから再度アクセスしてください。

# 応用編変更内容

■ P73 の画面が以下のように変更されます。また、次ページにリモートメンテナンス更新情報が追加されます。

## 5 主装置の運用

# 主装置の運用方法について

1 電話機能一覧

2 行話1機P多機能の設定を電

3 設定電話機能を行うの

4 ルータ機能の

5 主装置の運用

6 参考

### リモートメンテナンス

リモートメンテナンスサービスについて契約されているお客様の主装置に対して、保守センタからリモートメンテナンスの開始または終了を行うことができます。

リモートメンテナンスサービスをご利用になるには、契約が必要です。  
サービスのご利用方法につきましては、リモートメンテナンスサービスをご契約のお客様に別途お知らせいたします。

リモートメンテナンス画面を表示させるには

- 管理者設定

- 1 **【更新】 をクリックする**  
最新のリモートメンテナンス動作状況を表示します。
- 2 **【リモートメンテナンス開始】 をクリックする**  
リモートメンテナンスを開始します。
- 3 **【リモートメンテナンス終了】 をクリックする**  
リモートメンテナンスを終了します。

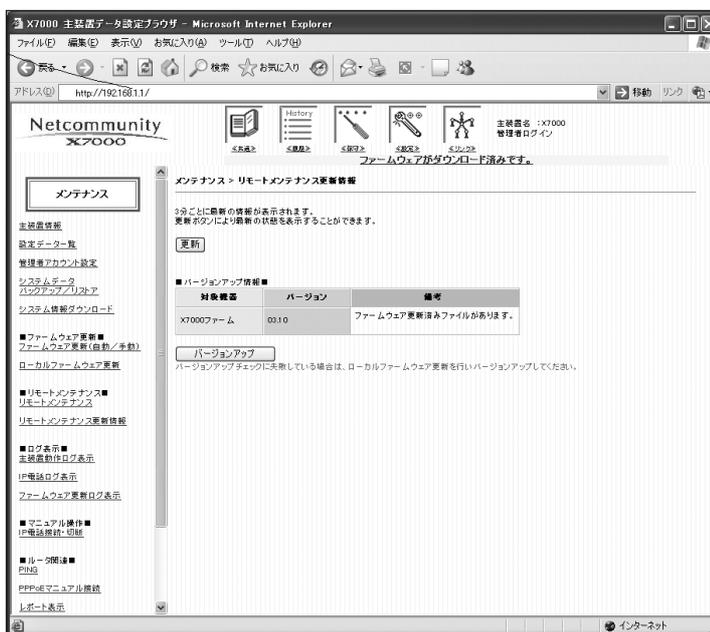
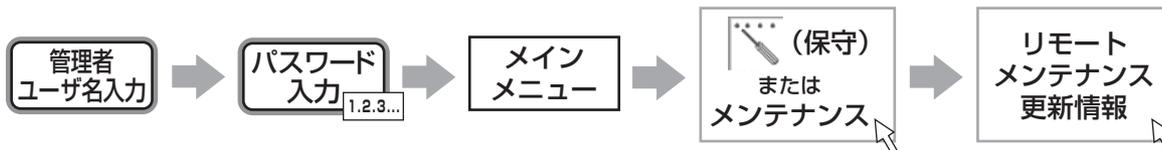
# 応用編変更内容

## リモートメンテナンス更新情報

バージョンアップ情報を表示し、リモートメンテナンスによって更新されたファイルの有無を表示します。

リモートメンテナンス更新情報画面を表示させるには

### ●管理者設定



1

### [更新]をクリックする

最新のリモートメンテナンス更新情報が表示されます。表示されるのは、次の内容です。

- ・バージョンアップ情報 (対象機器・バージョン)



### ワンポイント

- リモートメンテナンス情報は3分ごとに最新の情報が表示されます。
- バージョンアップ通知がある場合には、画面にバージョンアップが表示されます。最新アップデートファイルがある場合には[バージョンアップ]をクリックすることによって、システムのバージョンアップを行うことができます。
- [ダウンロードの中断]をクリックすると、バージョンアップファイルのダウンロードを中断します。

# 応用編変更内容

■ P74、75 ログ表示:主装置動作ログ表示、ログ表示:IP 電話ログ表示が統合され、次のようになります。

## 5 主装置の運用

### 主装置の運用方法について

#### ログ表示：主装置動作ログ表示

主装置の動作状況や接続されている端末の状況、IP電話サービスの状況を確認することができます。

主装置動作ログを表示させるには

##### ●管理者設定



■条件に一致した端末活性化の情報を表示することができます。

#### 特定の内線番号の端末に関するログを表示する場合

1

端末活性化情報表示の内線番号欄に表示したい内線番号を入力し、端末活性化情報表示をクリックする

指定した内線番号に関する活性化に関する情報を表示します。

#### 現時点での端末状態を表示する場合

1

端末活性化情報表示の端末最終状態をチェックして端末活性化情報表示をクリックする

現時点までログの中から、内線番号毎に記録されている最終活性化情報を表示します。

## 指定日時での端末状態を表示する場合

### 1 表示したい日時を月日時分秒で入力し、端末活性化情報表示をクリックする

指定した日時より以前のログの中から、内線番号毎に記録されている最終活性化情報を表示します。



#### ワンポイント

- イベント表示で表示したい種別のログをチェックし、イベント表示をクリックすることで、選択した種別のログのみ表示することができます。
- 「ログクリア」をクリックするとログ情報がクリアされます。
- 下記のような主装置の動作履歴が表示されます。
  - 電話系サービス起動完了
  - ISP接続 「PPPoEの接続が完了したことを表します。」
  - ISP切断 「PPPoEの接続が切断したことを表します。」
  - ISDN回線 使用可能 「ISDN回線が利用不可になったことを表します」
  - ISDN回線 使用不可 「ISDN回線が利用不可になったことを表します」
  - アナログ回線 使用可能 「アナログ回線が起動完了したことを表します」
  - 単体電話機 使用可能 「単体電話機が起動したことを表します」
  - ドアホン 使用可能 「ドアホンが起動したことを表します」
  - 単体SIP端末 使用可能 「標準SIP端末が起動したことを表します」
  - IPコードレス 使用可能 「IPコードレスがログインしたことを表します」
  - PS 使用可能 「PS端末が起動したことを表します」
  - IP多機能電話機 使用可能 「端末がログインしたことを表します」
  - IP多機能電話機 使用不可 「端末がログアウトしたことを表します」
  - IP多機能電話機 使用不可 (タイムアウト) 「端末とのヘルスチェックがタイムアウトし、ログアウト状態になったことを表します」
  - IP多機能電話機 再ログイン要求を受信 「端末がログアウトせずに再度ログインの要求を受信したことを表します」
  - IP電話回線 接続開始 「IP電話回線の接続処理を開始したことを表します」
  - IP電話回線 接続処理 成功 「IP電話回線の接続処理が完了したことを表します」
  - IP電話回線 切断処理 成功 「IP電話回線の切断処理が完了したことを表します」
  - IP電話回線 切断開始 「IP電話回線の切断処理を開始したことを表します」
  - IP電話回線 切断処理 成功 理由コード 「IP電話回線登録で理由コードにより登録できなかったことを表します」



#### お知らせ

- 主装置動作ログは、メンテナンスの再起動を実行した場合に保存されます。

# 応用編変更内容

■ P85 の内容が以下のように変更になりました。

## 6 ご参考に

### リモートメンテナンスサービスについて

リモートメンテナンスサービスは、保守センタとメンテナンスサービスについて契約されているお客様の主装置に対して、インターネットを利用したメンテナンスを行うサービスです。

#### サービス内容

リモートメンテナンスは、あらかじめユーザ情報と主装置を登録しておくことにより、次のようなサービスを受けることができます。(別途お申し込みが必要です。順次サービス開始予定。)

##### ●主装置ソフトウェアのバージョンチェックと自動ダウンロード

定期的にバージョンのチェックを行い、自動的にファイルをダウンロードします。また、新しい主装置の登録時や主装置の再起動時にも自動的に主装置ソフトウェアのバージョンチェックを行い、自動的にファイルをダウンロードします。

自動ダウンロード完了後は、主装置のINFOランプが橙点灯し、メンテナンス画面の「リモートメンテナンス更新情報」に情報が表示されます。自動ダウンロード完了後、バージョンアップを実行するには、「リモートメンテナンス更新情報」画面で手動で行います。

##### ●リモートメンテナンス

リモートメンテナンスを要求されると、データ設定にアクセスしてシステムの設定を変更します。

1  
機電  
能話  
一  
覧

2  
行話  
機機  
P多  
の機  
設能  
定を  
電

3  
設電  
定話  
を行機  
行能  
うの

4  
設ル  
定ー  
を行タ  
行機  
う能  
の

5  
主  
装  
置  
の  
運  
用

6  
ご  
参  
考  
に



#### お知らせ

- 主装置ソフトウェアのバージョンアップ時は、一時的に電話機が利用できなくなるため、お客様のご都合に合わせて、手動で行ってください。

# 応用編変更内容

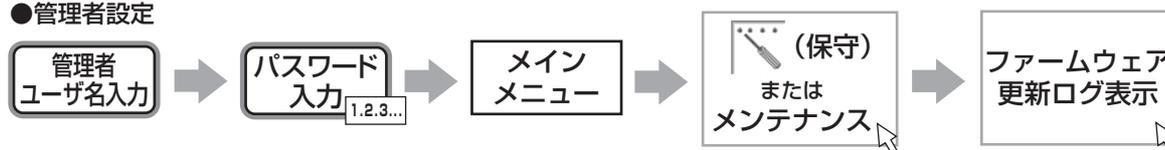
■ P75 と P76 の間にファームウェア更新ログ表示が追加になりました。

## ログ表示：ファームウェア更新ログ表示

ファームウェア更新の動作状況や履歴を確認することができます。

ファームウェア更新ログ表示を表示させるには

● 管理者設定



### ワンポイント

● [クリア]をクリックするとログ情報がクリアされます。

● ファームウェア更新の動作履歴が表示されます。

画面表示される主な情報は次のとおりです。

「主装置が起動しました」

：主装置が起動したことを表します。

「主装置が停止しました」

：主装置が停止したことを表します。

「ファームウェア更新で利用するネットワークが接続しました」

：ファームウェア更新で利用するネットワークの接続が完了したことを表します。

「ファームウェア更新で利用するネットワークが切断しました」

：ファームウェア更新で利用するネットワークが切断したことを表します。

「更新チェックを開始しました」

：更新チェックを開始したことを動作毎（起動時／新規／定期／ブラウザ／端末）に表します。

「ダウンロードを開始しました」

：ダウンロードを開始したことを動作毎（起動時／新規／定期／ブラウザ／端末）に表します。また、ダウンロードファイルのバージョン表示も行います。

「ダウンロード可能ファイルがあります」

：更新チェックを行い、ダウンロード可能なファイルが存在したことを表します。また、ダウンロード対象ファイルのバージョン表示も行います。

# 応用編変更内容

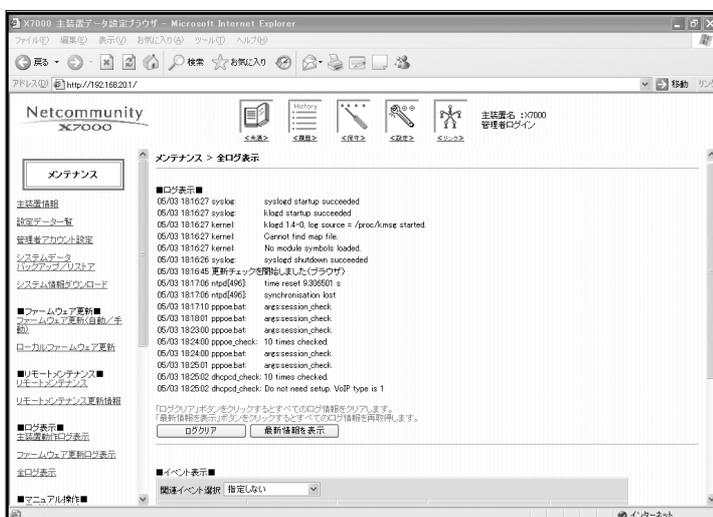
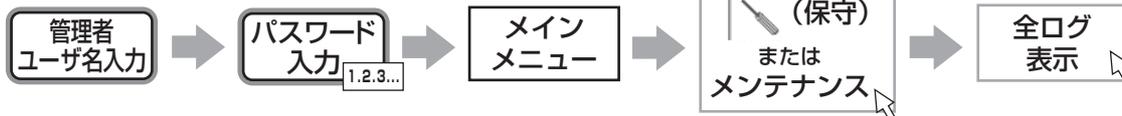
■ P75 と P76 の間に全ログ表示が追加されました。

## ログ表示：全ログ表示

主装置に関連するルータ関連の動作ログや電話機機能に関する動作ログが表示されます。

全ログ表示を行うには

● 管理者設定



### ワンポイント

- イベント表示で表示したい種別のログをチェックし、イベント表示をクリックすることで、選択した種別のログのみ表示することができます。
- 条件に一致した端末活性化の情報を表示することができます。操作方法は「ログ表示：主装置動作ログ表示」を参照してください。
- 「ログクリア」をクリックするとログ情報がクリアされます。



### お知らせ

- ログは、メンテナンスの再起動やシステムが自動で再起動する場合に保存されます。
- 装置動作ログ表示、ファームウェア更新ログ表示、全ログ表示で表示されるログがそれぞれ別のログで管理されているため、端末活性化情報のログ表示などを行った場合、表示される内容が異なる場合があります。

# 応用編変更内容

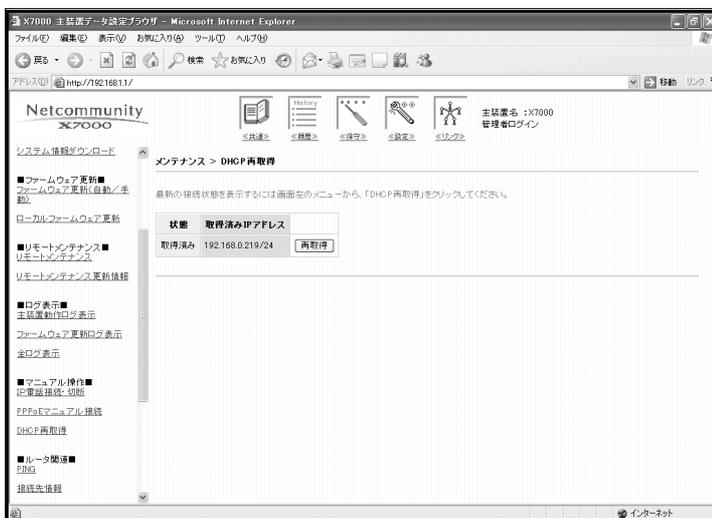
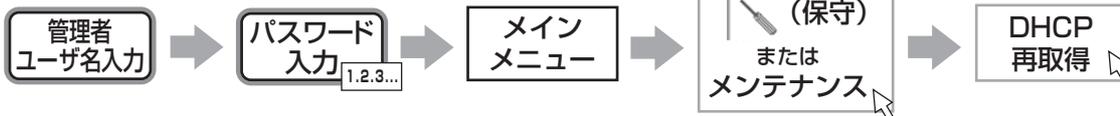
■応用編 P76 と P77 の間に DHCP 再取得が追加されました。

## マニュアル操作：DHCP再取得

手動操作により、WAN側インタフェースで取得しているIPアドレスを再取得することができます。

DHCP再取得を表示させるには

### ●管理者設定



## 1

### 「再取得」をクリックする

DHCPアドレスの再取得を実施し、その結果を表示します。



### お知らせ

- WAN側のインターフェースがDHCPクライアントに設定されている場合のみ、再取得ボタンが表示されます。

# 応用編変更内容

■ P79 ~ P82 の内容が以下のように変更になりました。

## レポート表示を行うには

各種統計情報を表示することができます。

**■接続先情報の表示を行うには**

接続先の状態を表示します。

接続先情報を表示させるには

●管理者設定

管理者  
ユーザ名入力

→

パスワード  
入力  
1,2,3...

→

メイン  
メニュー

→

(保守)  
または  
メンテナンス

→

接続先  
情報

---

1

レポート表示メニューで【接続先情報】を選択する

接続状態を表示します。

「LAN接続状態」 : LANの状態を表示します。

「接続先状態」 : 使用中の接続先の状態を表示します。

**1**  
電話機能一覧

**2**  
IP多機能の設定を行う

**3**  
電話機能の設定を行う

**4**  
ルータ機能の設定を行う

**5**  
主装置の運用

**6**  
ご参考に

79

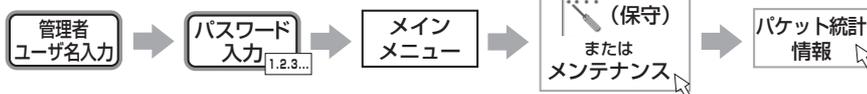
## 5 主装置の運用

### ■パケット統計情報の表示を行うには

接続先の送受信パケット数を表示します。

パケット統計情報を表示させるには

●管理者設定



#### 1 レポート表示メニューで【パケット統計情報】を選択する

- LANおよび接続先の統計情報が表示されます。
- 画面表示される情報は次のとおりです。
  - 「累計」：インタフェースで送信／受信したパケット数
  - 「失敗」：送信／受信でエラーが発生したパケット数
  - 「破棄」：バッファ不足により受信できなかったパケット数



#### お知らせ

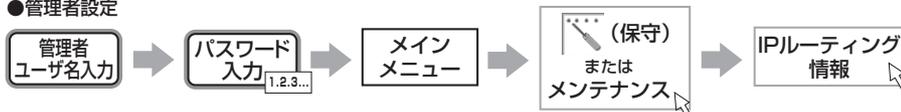
- 【クリア】をクリックするとすべてのパケット統計情報がクリアされます。
- 「失敗」や「破棄」の値が多い場合は、ネットワークのトラフィックが異常に高くなっている可能性があります。

### ■IPルーティング情報を表示する場合

ルーティング情報を表示します。

ルーティング情報を表示させるには

●管理者設定



1

#### レポート表示メニューで【IPルーティング情報】を選択する

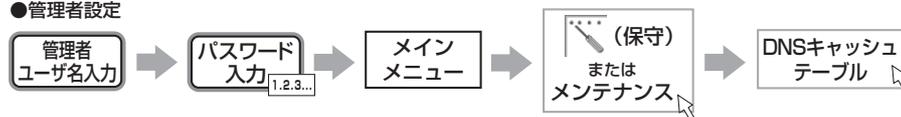
設定した接続先IPルーティング情報、スタティックIPルーティング情報、および学習したダイナミックIPルーティング情報が表示されます。

## ■DNSキャッシュテーブルを表示する場合

DNSキャッシュテーブルの登録内容を表示します。

DNSキャッシュテーブルを表示させるには

●管理者設定



1

レポート表示メニューで [DNSキャッシュテーブル] を選択する

保存されているドメイン名とIPアドレスの組が表示されます。

## ■DHCP割り付け状態を表示する場合

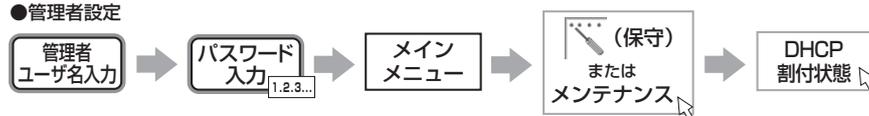
DHCPによるIPアドレス割り付け状態を表示します。

[削除] をクリックすることにより、選択したDHCP割り付け情報を削除します。使用されていないIPアドレスを削除することにより、再度割り付けが可能です。

[保存] をクリックすることにより、DHCPの割り付け情報をフラッシュメモリへ保存します。再起動などによりフラッシュメモリからDHCPの情報を読み出すため、以前に割り当てた同じアドレスを割り付けることができます。

DHCP割付状態を表示させるには

●管理者設定



### お知らせ

- DHCPの割付情報は、システムの再起動では保存されません。IP多機能電話機やIPコードレス電話機、PCなどDHCPクライアントを利用する端末が増えた場合には、必ず保存ボタンを押下して割付情報を保存するようにしてください。

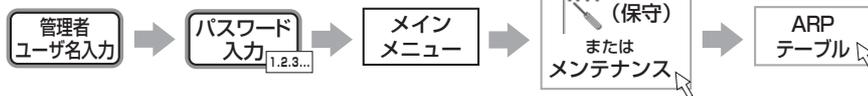
## 5 主装置の運用

### ■ARPテーブルを表示する場合

ARPテーブルの登録内容を表示します。

ARPテーブルの登録内容を表示させるには

●管理者設定



#### 1 レポート表示メニューで [ARPテーブル] を選択する

キャッシュされているIPアドレスとMACアドレスの組が表示されます。



#### お知らせ

- 表示されたテーブルからエントリを選択し、[削除] をクリックするとARPテーブルからクリアされます。

# 機能追加に伴う変更内容

基本編			
ページ	修正箇所	変更前	変更後
P24 V2.00～	設定メニューについて 表中 1: ユーザ状態変更のメニューのはたらき	この電話機のユーザ状態を不在、離席、会議中、食事中などから……	この電話機のユーザ状態を不在、在席、留守録音、離席、会議中などから……
P26 V2.00～	●ランプの表記について 表中の着信ランプ 点灯（赤） 電話機の状態	DESKPORT から送信された文字メッセージを受信したとき	DESKPORT から送信された文字メッセージを受信したとき、または音声メールを受信したとき
	●ランプの表記について 外線ランプ 点滅（緑） 電話機の状態	外線通話が転送されているとき、保留警告されているとき	外線通話が転送されているとき、保留警告されているとき、ダイヤルイン着信のとき、または音声メールを受信したとき
P40 V4.00～	ワンポイント	<ネーム・ディスプレイ> IP 多機能電話機 無線 IP 多機能電話機 ネーム・ディスプレイ対応のアナログ通信機器	<ネーム・ディスプレイ> IP 多機能電話機 無線 IP 多機能電話機 IP コードレス電話機 ネーム・ディスプレイ対応のアナログ通信機器
P40 V4.00～	外線着信に応答する手順 2	ダイヤルイン着信の場合は、発信者番号と発信者名称が表示されます。	発信者番号と発信者名称が表示されます。
	ワンポイント 外線または内線でお話中に電話がかってきたときは	通常より小さい音量で着信音が鳴ります。	話中着信が許可されている場合、外線または内線でお話中に内線から電話がかってきたときは通常より小さい音量で着信音が鳴ります
	お知らせ	ダイヤルイン着信時には、外線ランプは緑色に点滅します。	ダイヤルイン着信時鳴動指定端末が 1 台の場合には、外線ランプは緑色に点滅します。  複数の外線や内線が着信しているとき、選んで応答したい場合は先に外線ボタンや内線ボタンを押してからダイヤルしてください。フックボタンを先に押してしまうと着信に応答します。
P44 V2.00～	手順 5 の補足説明	代理応答グループを設定していない場合は、「代理応答グループは設定されていません。」と表示され、手順 5 へ戻ります。	端末グループを設定していない場合は、「代理応答グループは設定されていません。」と表示され、手順 5 へ戻ります。
P44 V2.00～	手順 6 の操作説明	内線グループの番号を押す	端末グループの番号を押す
P62 V2.00～	ワンポイントの 3 つ目	● 次の機能を登録することもできます。 ・ ユーザ状態変更 ・ 代理応答 ・ 赤外線電話帳受信 ・ 内線グループ音声呼出 ・ システムモード切替 (…)	● 次の機能を登録することもできます。 ・ ユーザ状態変更 ・ 代理応答 ・ 赤外線電話帳受信 ・ 内線グループ音声呼出 ・ 音声メール再生 ・ システム音声メール再生 ・ システムモード切替 (…)
P71 V2.00～	ワンポイント 左側下から 2 番目の※	※単体電話機、デジタルコードレス電話機を一斉呼出することはできません。	※ IP 多機能電話機以外を一斉呼出することはできません。
P73 V2.00～	手順 5 のディスプレイ表示	ワタチ登録 4: 内線グループ 音声呼出	ワタチ登録 4: 内線グループ 音声呼出 5: 音声メール再生 6: システム音声メール再生
P80 V2.00～	手順 2 のディスプレイ表示	1-ザ 状態変更 1: 不在 2: 在席 3: 離席	1-ザ 状態変更 1: 不在 2: 在席 3: 留守録音
P80 V2.00～	手順 3 のディスプレイ表示	1-ザ 状態変更 4: 会議中 5: 休憩中 6: 食事中	1-ザ 状態変更 4: 離席 5: 会議中 6: 休憩中

# 機能追加に伴う変更内容

基本編			
ページ	修正箇所	変更前	変更後
P80 V2.00～	手順3の操作説明	不在、在席、離席、会議中、休憩中、食事中、外出中、その他から、状態を選び番号をダイヤルボタンで押す	不在、在席、留守録音、離席、会議中、休憩中、外出中、その他から、状態を選び番号をダイヤルボタンで押す
P80 V2.00～	ワンポイントの3つ目	不在、在席、通話中以外の状態表示名は、設定により変更することができます。(応用編 ●P23)	不在、在席、通話中、留守録音以外の状態表示名は、設定により変更することができます。(応用編 ●P23)
P101 V4.00～	必要な準備の表中Webブラウザ	・ Microsoft Internet Explorer5.5 (SP-2) 以上 ・ Netscape Navigator 6 以上	・ Microsoft Internet Explorer5.5 (SP-2) 以上
P106 V4.00～	設定を行う前に手順1	・ Microsoft Internet Explorer5.5 (SP-2) 以上 ・ Netscape Navigator 6 以上	・ Microsoft Internet Explorer5.5 (SP-2) 以上
P108 V2.00～	■ ユーザ設定メニュー メインメニュー 個人(個人電話帳) (●P114) の機能		
P75 V4.00～	ログ表示: IP 電話ログ表示		主装置動作ログ表示に統合の為、削除
P113 V3.00～	手順6	● ワンタッチ 以下の機能をワンタッチボタンとして設定できます。 ・ ユーザ状態変更 (●P82) …… ・ システムモード切替 (応用編 ●P25) ・ 代理応答 (●P43) ・ 操作登録 (●P62) システムモード切替は、管理者用電話機のみ選択できます。	● ワンタッチ 以下の機能をワンタッチボタンとして設定できます。 ・ ユーザ状態変更 (●P82) …… ・ システムモード切替 (応用編 ●P25) ・ 代理応答 (●P43) ・ メンテナンス・操作登録 (●P62) システムモード切替、メンテナンスは、管理者用電話機のみ選択できます。



# 機能追加に伴う変更内容

基本編			
ページ	表説明 追加/修正		
P138	● X7000IP 多機能電話機のエラー表示について		
	表示名	表示理由	
V2.00～	VM 利用不可	ボイスメールサービスが利用できない場合	
	転送失敗しました。	呼出状態転送時、呼び出しと同時にオンフックした場合	
※※ボイスメールサービス取扱説明書			
V2.00～	●その他の表示		
	表示名	表示理由	
	音声メールあり	内線メールボックスに未開封の音声メールがある場合	
		※※	
P138	● X7000 管理者 IP 多機能電話機のエラー表示について		
	表示名	表示理由	
V3.00～	ファームダウンロード失敗	ファームウェアのダウンロードに失敗した場合	
	ファームダウンロード中断	ファームウェアのダウンロードを Web から中断した場合	
※ファームウェア更新 (本書 P38)			
V3.00～	●その他の表示		
	表示名	表示理由	
	ファームウェアあり	アップデートサーバに最新ファームウェアがある場合	
	強制ファームウェアあり	アップデートサーバに強制ダウンロード対象の最新ファームウェアがある場合	
	ファームダウンロード中	ファームウェアダウンロード中	
	ファームダウンロード済み	通常ファームウェアのダウンロードが完了し、主装置の再起動待ち状態である場合	
	強制ファームダウンロード済み	強制ファームウェアのダウンロードが完了し、主装置の再起動待ち状態である場合	
※ファームウェア更新 (本書 P38)			
P138	●その他の表示の一覧に下記の内容を追加		
	表示名	表示理由	
V4.00～	主装置再起動中	主装置の再起動が開始された場合	
ページ	修正箇所	変更前	変更後
P141	電話回線グループ捕捉特番 IP 電話 初期値	—	95
	V2.00～	■ダイヤル中特番	【追加】
【説明追加】			※ 5：事業者識別解除番号は「ツ…」という外線発信音を確認したあと、解除番号を押します。

# 機能追加に伴う変更内容

基本編			
ページ	表説明 追加/修正		
P141	■ダイヤル中特番		
	名称	機能	初期値
	ボイスメールサービス呼出番号	ボイスメールサービスに接続する	⑧ ①
	システム留守録音サービス番号	システム留守録音を行うサービスに接続する	⑧ ②
	留守録音サービス番号	留守録音を行うサービスに接続する	⑧ ③
	システム音声メール再生サービス番号	システムメールボックスにある音声メールの再生を行うサービスに接続する	⑧ ④
音声メール再生サービス番号	内線メールボックスにある音声メールの再生を行うサービスに接続する	⑧ ⑤	
V2.00~	※※ボイスメールサービス取扱説明書		
ページ	修正箇所	変更前	変更後
V4.00 ~	手順3の操作説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>→保守 (メンテナンス)</li> <li>→主装置情報</li> <li>：</li> <li>→主装置動作ログ表示</li> <li>→IP 電話ログ表示</li> <li>→ファームウェア更新ログ表示</li> <li>→IP 電話接続・切断</li> <li>：</li> <li>→PPPoE マニュアル接続</li> <li>→レポート表示</li> <li>→ルータ設定一覧表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→保守 (メンテナンス)</li> <li>→主装置情報</li> <li>：</li> <li>→主装置動作ログ表示</li> <li>→ファームウェア更新ログ表示</li> <li>→全ログ表示</li> <li>→IP 電話接続・切断</li> <li>→PPPoE マニュアル接続</li> <li>→DHCP 再取得</li> <li>→PING</li> <li>→接続先情報</li> <li>→パケット統計情報</li> <li>→IP ルーティング情報</li> <li>→DNS キャッシュテーブル</li> <li>→DHCP 割り付けテーブル</li> <li>→ARP テーブル</li> <li>→ルータ設定一覧表示</li> </ul>

# 機能追加に伴う変更内容

応用編			
ページ	修正箇所	変更前	変更後
P6 V2.00～	代理応答 SIP 端末	—	○
P6 V3.00～	話中着信 関連項目	—	○話中着信 (電話機動作設定)
P7 V2.00～	オートコールバック 単体電話機	○	—
	オートコールバック 関連項目	—	◎オートコールバック 対象電話番号設定
P9 V2.00～	個別保留・転送 SIP 端末	—	○
P9 V2.00～	外外転送 関連項目	◎外外転送 (ユーザー電話機設定)	◎外外転送 (電話機動作設定)
P11 V2.00～	ドアホン応答 SIP 端末	—	○
P12 V2.00～	発信電話番号通知要請機能 デジタルコードレス	—	○
P12 V2.00～	ネーム・ディスプレイ SIP 端末	—	○
P12 V2.00～	ナンバー・ディスプレイ SIP 端末	—	○
P13 V2.00～	フリーロケーション機能 関連項目	◎ログインパスワード変更設定	○ログインパスワード変更設定
P13 V3.00～	その他	【追加】	ファームウェア更新 管理者 IP 多機能電話機：○ 機能概要： メンテナンスサーバに運用中バージョンより新しいファームウェアがある場合に、IP 多機能電話機からの操作により、システムのファームウェア更新が行うことができる機能
P14 V2.00～	3：不在着信転送設定		
P15 V2.00～	1：ユーザ状態変更 設定範囲	不在／在席／離席／会議中／休憩中／食事中／外出中／その他不在、在席、離席以外は、…	不在／在席／留守録音／離席／会議中／休憩中／外出中／その他不在、在席、留守録音以外は、…
P16 V2.00～	3：不在着信転送設定 設定項目 不在着信転送設定	設定／解除	設定／解除／登録
	3：不在着信転送設定 設定項目	転送元内線番号設定 転送対象着信選択 転送起動時間設定	【削除】
	■ IP 多機能電話機設定メニュー一覧② 1：ワンタッチ登録	1：ワンタッチ登録 → フレキシブルボタン選択	1：ワンタッチ登録 → 1：登録 → フレキシブルボタン選択 2：削除 → フレキシブルボタン選択
	表 1：ワンタッチ登録設定項目サブメニュー機能選択 設定範囲	…／内線グループ音声呼出／システムモード切替…	…／内線グループ音声呼出／音声メール再生／システム音声メール再生／システムモード切替…
	表 4：カレンダー・時刻設定 設定範囲	年月日：20 ××年××月××日 時間：〇〇時〇〇分	年 (西暦 2000～2037) 月 (1～12)、日 (1～31) 時 (0～23)、分 (0～59)

# 機能追加に伴う変更内容

応用編																																							
ページ	修正箇所	変更前	変更後																																				
P16	表 1: ワンタッチ登録設定項目サブメニュー機能選択 設定範囲	…/内線グループ音声呼出/ システムモード切替…	…/システムモード切替 (管理者 IP 多機能電話機のみ) / メンテナンス (管理者 IP 多機能電話機のみ)																																				
	*: データ設定メニュー	<b>【追加】</b> *: データ設定メニュー → 6: メンテナンス (管理者 IP 多機能電話機のみ) → 1: 更新チェック → 2: ファームウェアダウンロード → 3: 主装置再起動 → 4: 再起動時刻設定 → 5: リモートメンテナンス開始 → 6: リモートメンテナンス終了																																					
V3.00 ~	設定項目一覧	<b>【追加】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="3">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6: メンテナンス</td> <td colspan="3">ファームウェアのバージョンアップを行い、システムのメンテナンスを行うことができます。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設定項目</td> <td>設定範囲</td> <td>初期値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>更新チェック</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファームウェアダウンロード</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主装置再起動</td> <td>はい/いいえ</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>再起動時刻設定</td> <td>00 時 00 分 ~ 23 時 59 分</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リモートメンテナンス開始</td> <td>はい/いいえ</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リモートメンテナンス終了</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明			6: メンテナンス	ファームウェアのバージョンアップを行い、システムのメンテナンスを行うことができます。				設定項目	設定範囲	初期値		更新チェック	—	—		ファームウェアダウンロード	—	—		主装置再起動	はい/いいえ	いいえ		再起動時刻設定	00 時 00 分 ~ 23 時 59 分	—		リモートメンテナンス開始	はい/いいえ	いいえ		リモートメンテナンス終了	—	—	
項目	説明																																						
6: メンテナンス	ファームウェアのバージョンアップを行い、システムのメンテナンスを行うことができます。																																						
	設定項目	設定範囲	初期値																																				
	更新チェック	—	—																																				
	ファームウェアダウンロード	—	—																																				
	主装置再起動	はい/いいえ	いいえ																																				
	再起動時刻設定	00 時 00 分 ~ 23 時 59 分	—																																				
	リモートメンテナンス開始	はい/いいえ	いいえ																																				
	リモートメンテナンス終了	—	—																																				
P17	●管理者設定メニュー設定	「AP/STA一覧表示」 「事業者識別番号自動付与設定」 …	「AP/STA一覧表示」 「ファームウェア更新設定」 「事業者識別番号自動付与設定」 …																																				
V3.00 ~																																							
P23	表	… 通話中状態名; 変更できません 離席状態名; 離席し電話に…… 会議中状態名; …… 休憩中状態名; …… 食事中状態名; …… 外出中状態名; …… …	… 通話中状態名; 変更できません 留守録状態名; 変更できません 離席状態名; 離席し電話に…… 会議中状態名; …… 休憩中状態名; …… …																																				
V2.00 ~																																							
P33	●手動による設定	設定範囲 年/月/日/時/分/秒	設定範囲 年/月/日/時/分/秒 年 (西暦 2000 ~ 2037) 月 (1 ~ 12) 日 (1 ~ 31) 時 (00 ~ 23) 分 (00 ~ 59) 秒 (00 ~ 59)																																				
V2.00 ~																																							
P68	■表示される設定データ	<b>【追加】</b>	・ボイスメール設定データ一覧																																				
V2.00 ~																																							
P68	■表示される設定データ	<b>【追加】</b>	・ファームウェア更新設定一覧																																				
V3.00 ~																																							

# 機能追加に伴う変更内容

応用編			
ページ	修正箇所	変更前	変更後
P74  V2.00～	ワンポイント 主装置動作ログ表示 ●主装置の動作履歴が…	【追加】	「ボイスメールサービス開始」：ボイスメールサービスが開始したことを表します。 「ボイスメールサービス異常（停止）」：ボイスメールサービスが異常終了したことを表します。 「ボイスメールサービス停止」：ボイスメールサービスが停止したことを表します。 「ボイスメール起動待ち」：ボイスメールサービスの起動待ち状態であることを表します。

---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

**当社ホームページ**：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

---

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

### NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道府県）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

■NTT 西日本エリア（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-<sup>トクニイナ</sup>109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

---